

30348 ✓

教科書文庫

3
920
44-1897
200030
2033

M30
1897

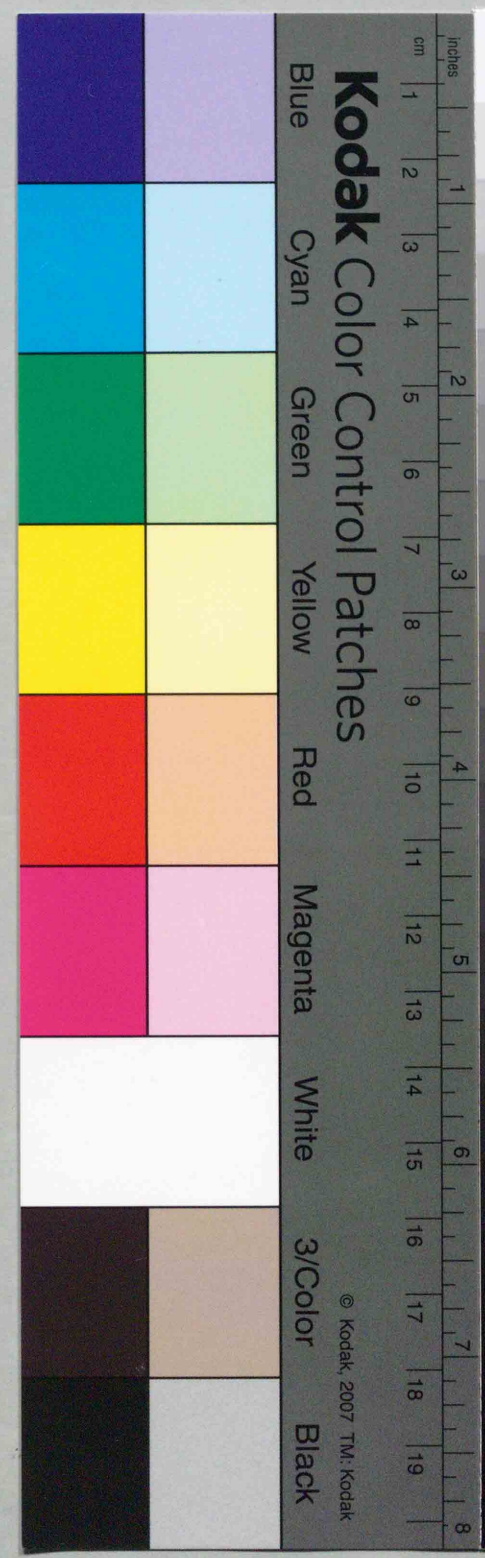
Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



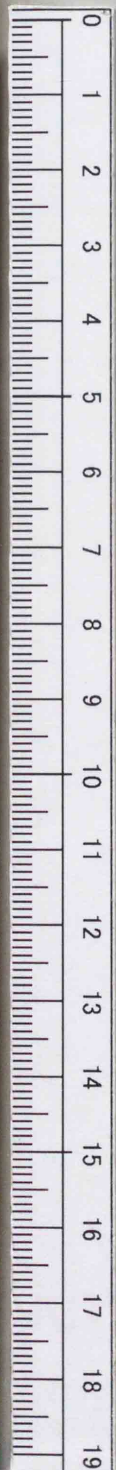
© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches



Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



375.9
Wa20
資料室

裁縫教科書

渡邊辰五郎編纂

卷二



裁縫教科書卷之二

中一尺三寸長二丈ヲ以テ中裁振袖
裁方図及び積り方

ウシロ	マハ	ビクラ	置
六寸	六五	ウシロ	八廿五
六寸	マハ	ソテ	ソテ

袖丈二尺二寸
 袖中四寸
 袖丈五尺五寸

身丈三尺七寸三分余

袖
 $22 \times 4 = 88$
 $200 - 88 = 112$
 $112 \div 3 = 37.3$ 余

32	30	30
ゴミ	ゴミ	ソテ
ゴミ	ゴミ	ソテ

常中の布を次て別袷の
 四身裁方

袖丈一尺二寸
 袖丈三尺二寸
 袖丈五尺二寸
 袖丈五尺二寸
 袖丈三尺二寸

積り方解

袖丈の四倍と身の丈の
五倍とを合せ袷下りの三
寸を減せれば用布を得
るあり

袖
 $15 \times 4 = 60$
 $35 \times 5 = 175$
 身丈
 $60 + 175 = 235$
 $235 - 3 = 232$ 用布
 寸 尺 寸

版權所有

渡邊辰五郎

裁縫教科書

東京裁縫女學校教授
東京裁縫教員研究會會員
渡邊辰五郎

渡邊辰五郎



ハ	ソ	デ	七六五五五五	後	四五	社	二五
ハ	ソ	デ	七六五五五五	前	四五	社	二五
ハ	ソ	デ	七六五五五五	前	四五	社	二五

中一尺六寸長さ一丈二尺の布を以て四身裁方

袖丈一尺五寸五分
後中七寸六分五厘
前中五寸八分五厘

積り方解

袖丈の二倍を総尺より減し其残りへ衿下り丈を加へ三寸除せば身丈を得身の丈より衿下りを減すれば衿下りを得るあり

衿丈一尺二寸五分
衿巾四分
衿巾四分
衿巾四分

$$15.5 \times 2 = 31.$$

$$120 - 31 = 89.$$

$$89 + 2.5 = 91.5$$

衿

$$91.5 \div 3 = 30.5$$

身丈

$$30.5 - 2.5 = 28.$$

衿

九寸	九寸	袖	四	二	巾
九寸	九寸	袖	四	二	巾
九寸	九寸	袖	四	二	巾

中二尺の布を以て四身裁方図
但し袖丈一尺五寸身丈三尺一寸

積り方解

袖丈へ身の丈を加へ之を二倍せば用布を得る

衿巾四分
衿巾四分
衿巾四分
衿巾四分

$$15 + 31 = 46.$$

$$46 \times 2 = 92.$$

用布

前衿裁は十五
歳の人と相當
なる裁方あり

二丈二尺五寸
の布を以て前
衿裁を裁つよ
袖丈一尺四寸
五分を身の
丈何程ありや

○中九寸五分の布を以て前衿裁方の図及び積方

但し袖丈一尺四寸五分身の丈三尺五寸衿下り三寸
袖丈一尺四寸五分
前衿裁の積方袖丈一尺四寸五分の四倍と身の丈三尺五寸の五倍とを合せ衿下の三寸を減し総尺を得る。

袖	八五	袖	六五	マ	レキ	ビクヲ
袖	八五	袖	六五	マ	レキ	ビクヲ
袖	八五	袖	六五	マ	レキ	ビクヲ

衿肩三寸
身丈三尺五寸
衿巾三寸
後中八寸五分
前中六寸五分

積方の式

袖

$$14.5 \times 4 = 58.$$

身

$$35 \times 5 = 175.$$

$$175 + 58 = 233.$$

$$233 - 3 = 230.$$

衿下り

高等科二年第一期

○運針、木綿二重に針目を二分にあけて、四十分間、五十尺以上縫ハ―むべし。

○男祥纏を仕立つる寸法。

身の丈二尺二寸より、四五寸に至り、袖丈一尺三寸より、全四五寸、袖口七寸五分、乃至八寸、袖中九寸位、後中八寸、肩中八寸五分、前中、衿肩より、真直前下五分、衿中一寸六分出来上り。

○女祥纏を仕立つる寸法。

身の丈二尺三寸より、五寸小至り、袖丈一尺三寸より、全六七寸に至り、袖口六寸、乃至六寸五分、袖中八寸七八分、袖

付六寸より、八九寸、後中七寸五分、肩中七寸七八分、前中、衿肩より、真直前下り五分より、一寸位迄、衿中一寸四五分。

注意、祥纏の袖丈ハ、着物より三分長く、衿肩ハ、一分廣く、むらあり。

○男綿入祥纏の縫方

先づ表袖の裏を見て、袖附を右に持ち、袖丈の印の所を縫ひ、袖口明の所ハ、能く糸を止め、袖形を拵へ、袖付を右小持ち、左の袖は、自己の向ふへ返し、右の袖は、自己の方へ返し、左の袖は袖下より、口明の所まで、懸糸をかけ、右の袖は口明の處より、始め袖付の處まで、懸糸を懸け、袖中九寸。●印を付け、次に裏袖の中狭き時は、袖口の方へ持出の切を入れ、表袖より、

六七分廣くある様にして袖口を掛又袖下を縫ひ明を止ると
 き、ハ袖口より裏の切を一分程ゆるく糸、紵、る四分糸にて止
 め、袖形を拵へ、縫目は鯨糸を掛け、袖中九寸糸印を付け袖山の
 方を表より六分廣く印を付け、次は表身頃を取り衿肩を右
 小持ちて脊を縫ひ、其の折目は自己の方返、下小置き裾より袖
 付の印迄、後中八寸糸印を付け、肩中は八寸五分糸糸にて印を付
 け、次は脇を縫ひ折目は、前身頃の方へ返、次は袖を少しゆるく
 して、附の所を能く止め、身頃の方は、縫込の切を一寸程の間浅く縫
 ひ、夫れより上ハ一分縫代糸糸にて縫附け折目ハ袖の方へ返、脇の
 縫込ハ前後へ開き、前の方へ一分程、きせをかけて、縫付け、次は衿
 肩より、真直糸前中の折を付け、身の丈の印迄衿をつけ、縫目は

衿の方へ返、衿衿ハ堅を先小横を後糸にて折をつけ、左右同様
 小掛け、次は衿肩を右糸にて裏の脊を縫ひ折目ハ己の向より返、
 次は表糸比べて後中と肩中との印を付け、脇を縫ひ折目ハ前身の
 方へ返、袖を付け折目ハ身頃の方へ返、次は縫目を揃へ裾を
 合せ、折目は裏の方へ返、鯨糸をかけて、畳み置くあり。
 ○綿の入れ方但し前下りの胴縫ふ於て付る故は表の脇縫をあせ時ハ裾口
 の山より前身頃を斜目ハ縫出さべし
 裏をたゝみ置き、表を引伸、後の方を見て、綿ハ脊筋より縫
 ぎ、裾口を二三寸長く置き、裾口の印の所より、裏を表の方へ
 引伸し、次は裏の前と袖とに綿を置き、袖口綿をくるみ前の
 方より、袂の中へ手を入れ、袂と袖口とを共小持ちて引返し、
 双方引合せ、夜着畳となるなり。

○紵方。

表と裏の脊縫を揃へて、三つ衿の所へ待針を刺し、行及び丈を引合せ、針目一寸位ふいて、糸と綿との引つらぬ様、袖口綿を縊り付け、口明の止は、表と裏とを共、止め、衽を二分と定めて、針目を二三分位より、紵け、次、衿の縫目の所を表と裏と一つ、綴ぢ、衿中の印を付け、衿先を一分中を縫ひ、折目は裏の方へ返して、衿を紵け、脊と脇との縫目を一尺程綴ぢ、然る後之を疊み置くなり。

女祥纏の縫方、及び紵方も、八つ口を明け、又身中等の少く狭きのみよて、其の他も男祥纏と同様なれば、之を略す。巾九寸五分の布を以て、袖丈一尺四寸五分、身の丈二尺五寸

表地一丈七尺
裏地一丈七尺
三寸の布を以て男半纏に縫ひたる、袖丈一尺四寸出来にせ、身の丈幾許あるや、但、半衿の中、裏地を用、半衿より下、表の切を用、

ソデ	ゴロ	ゴロ	エリ
----	----	----	----

袖丈一尺四寸五分
衿肩守四分
身の丈二尺五分
衿肩守四分
衿先、切一尺
但、半衿の中、別切

五分裁切の男祥纏の表裁方及び積方。

裁方。一丈七尺の中より、五尺八寸切りて、両袖と、次、一丈二寸断ちて、身頃と、残の一尺を衿先とせらるなり。

身丈
 $14.5 + 25.5 = 40.$

$40 \times 4 = 160.$

先衿
 $160. + 10. = 170.$ 用布

積方

袖丈と身の丈とを和して四倍し、これ、衿先の一尺を加へて、総尺を知るなり。

○巾九寸五分長さ一丈八尺の布を以て、女祥纏の表裁方及び積方。但し袖丈一尺五寸

裁方。一丈八尺の中より六尺切りて、兩袖とふし、次小九尺三寸六分裁切りて、身頃とし、残の二尺六寸四分を衿とまゐるあり。

積り方の解。

エリ	ゴロ	ゴロ	ソデ	ソデ
衿丈三尺守帯 但し山継	衿肩寸六分	身丈三尺守帯	袖丈一尺五寸	袖丈一尺五寸

$$15 \times 4 = 60$$

$$180 - 60 = 120$$

$$120 - 3 = 117$$

$$117 \div 5 = 23.4$$

$$23.4 + 3 = 26.4$$

袖丈を四倍し、総尺より減し、衿肩廻りの三寸を減し、五に除せば、身の丈を得、又身の丈へ衿肩廻りの三寸を加ふれば、衿丈を得るなり。

○巾九寸五分長さ一丈八尺の布を以て、女祥纏の裏地裁方及び積方

但し袖丈一尺五寸
裁方。一丈五尺の中より六尺裁ちて、兩袖とあし、残の九尺を身頃とまゐるあり。

積方の解。

袖丈を四倍し、之れを総尺より減し、四に除せば、身の丈を得るなり。

ゴロ	ゴロ	ソデ	ソデ
衿肩寸六分	身の丈三尺守帯	袖丈一尺五寸	袖丈一尺五寸

$$15 \times 4 = 60$$

$$150 - 60 = 90$$

$$90 \div 4 = 22.5$$

裏地の布を以て、女祥纏の裏地裁方及び積方。但し袖丈一尺五寸、身の丈三尺守帯、衿肩寸六分、衿丈三尺守帯、但し山継。

○兒守袴纏も一名ねんねこ袴纏とも云ふ。之を仕立つるは、身の丈を二尺七八寸ふして、衽を付け又表の裾口に裏を五六寸表へ出し、袖口も五分位衽を出し、衽先も三寸程裏を表へふかせ、衽下七八寸ふして、袴衽を掛け、然る後所々を綴るなり。

但し綿ハ木綿三百目以上を要す。

○男服を仕立つる寸法。

身の丈	三尺六寸五分	行	一尺七寸五分
袖丈	一尺四寸	袖巾	九寸
袖口	八寸	人形袖	袖付一尺二寸
		袖形	五六分

身巾。

後巾八寸。前巾六寸五分。抱の中六寸。

衽下。

五寸。衽巾四寸。相褻三寸五分。

衽巾。

一寸六分。衽下一尺七寸五分。

衽。

二分。絹布あらば、二分五厘。衽は衽一分。

絹布あらば、一分五厘ふして、衽綿を少々入るゝあり。

女服を仕立つる寸法。

身の丈。

四尺内外。行。一尺六寸五分。

袖丈。

一尺五寸内外。袖巾。八寸七八分。

袖口。

六寸五分。袖附。七寸内外。袖形。五六分。

身の八つ口。

三寸内外。身巾。後七寸五分。前六寸。

抱五寸三分。

衽下。六寸。衽巾。四寸。相褻。三寸五分。

男服裁袖
丈一尺四寸五
分身丈三尺
九寸社下四
寸五分裁
んとせハ其用
布裁きありや
但一襟社

社	五	五	五	五
襟	四	四	四	四
エ	リ	エ	エ	エ
ト	リ	エ	エ	エ
モ	リ	エ	エ	エ

袖丈尺四寸
襟肩寸五分
社地丈六寸
社丈尺四寸
社丈尺四寸

衿中。三寸 衿下。二尺内外。衽。三分。袷ふらバ一分五厘。絹ふらむ四分より五六分迄。袷ふらむ二分五厘より。ふして、衽綿を少々入るゝなり。

常巾二丈七尺五寸の布を以て男服棒社裁方の図及び積方。

但一袖丈を二尺四寸五分とし、社下を四寸五分とし身丈と衽社とを求むる法

解

積方
 $74 \times 4 = 56$
 $275 - 56 = 219$
 $45 \times 2 = 9$
 $219 + 9 = 228$
 $228 \div 6 = 38$ 身丈
 $38 \times 2 = 76$
 $76 - 9 = 67$ 衽社

袖丈の四倍を総尺より減下其の残りへ社下りの四寸五分を二倍せしものを加へ六寸除せ身丈を得又身丈を二倍し社下りの二倍即ち九寸を減じれば衽社地を得るなり

常巾長サ二丈
ノ布ヲ以テ女
服ヲ裁ニ袖丈
一尺八寸社下
五寸ニナシ
纏社ニセバ身
ノ丈及衽社地
何程ナリヤ

ク	フ	五	五	五	五
エ	リ	エ	エ	エ	エ
ト	リ	エ	エ	エ	エ
モ	リ	エ	エ	エ	エ

袖丈一尺六寸
衿肩寸五分
身丈三尺九寸五分
衽社地六尺八寸
社丈三尺四寸
衽丈四尺寸

○常巾二丈九尺の布を以て女服棒社裁方の図及び積方。

但一袖丈一尺六寸社下り五寸五分の積り。

積方の解。

積方
 $16 \times 4 = 64$
 $290 - 64 = 226$
 $55 \times 2 = 11$
 $226 + 11 = 237$
 $237 \div 6 = 39.5$ 身丈
 $39.5 \times 2 = 79$
 $79 - 11 = 68$ 衽社地

袖丈の四倍を総尺より減下其の残りへ社下りの五寸五分を二倍せしものを加へ六寸除せば身丈を得る又身丈を二倍し夫れより社下りの二倍を減じれば衽社地を得るあり。

高等科二年第二期

○本裁男單物の縫方先づ袖の表を見て、兩端を五六分残し、
 浅く縫ひて、引返し、袖の裏を見て、袖附の方を右とし、袖丈の
 印の所を縫ひ袂は形紙を當て、印を附けて、袖口明の所迄縫
 ひ、此所にて糸を能く止め、口明の所ハ、細く三つ折ふして針
 目を二三分位小折し袖形は、五つ以上稜を取り、袖附を右と
 し左の袖は、自己の向へ折を附け、右の袖ハ、自己の方へ折を
 附け、引返して正しくふし、袖中の印を附け、人形袖ならん、人
 形を縫ひ、次ニ衽を取り、裾下を三つ折ふふし、針目を三分位
 小して、裾下の印より一寸上迄折し、次ニ肩當の裁目の所を
 二つ折ふして縫ひ、次ニ尻當へ折をつけ、身頃を取り、衽肩を

男單物縫方の
順序を問ふ

本裁服ヲ裁ニ
袖丈二尺八寸
身丈四尺八寸
下四寸裾下二
尺二寸ニナサ
トセバ其用
裁縫計ナリヤ
但シ釣衽

右とし、身頃を自己の方へ、肩當を自己の向ふし、持ち揚の印
 より少しく下迄脊を縫ひ、此所より尻當を向ふの方ニ持ち
 身頃と共に縫ひ、折目を自己の方へ返し、下に置き、後巾と肩
 中との印を附け、其所へ折を附け、次に尻當を折附け、次ニ揚
 をまゐるは、衽肩を自己の方へ、裾口を自己の向ふし、持ち、下
 なる印を山として折を附け、次ニ袖附より一寸下りし所の
 印へ又折を附け、其所を後巾の印より印まで縫ひ、折目は裾
 口の方へ返し、次ニ前の揚も斯の如くふして、左右共後身頃
 を自己の方小見て、脇を縫ひ、折目は、前身頃の方へ返し、次ニ
 袖附の所は、身頃と袖とを四枚共し止め、始め終り一寸程の
 間は、身頃を浅く縫ひ、夫れより上は一分縫ふるに縫ひ、折目

常中長サ五丈
六尺ノ布ヲ以
テ袖丈七寸身
ノ丈四尺社下
四寸社下二尺
二寸ノ女物一
枚ト袖丈一尺
四寸社下三寸
裾下二尺裁切
ノ四物一枚裁
タントセバ男
物ノ身ノ上
衿社地ハ幾許
ナリヤ

は、袖の方へ返し、次に表へ少し針目を出して、肩當を綴付け
又袖附の所の身頃の縫込を前後へ開き、前身頃の方へ一分
交へて二度縫ひ、其の縫込を綴付け、次に前巾及び抱の中と
其の中間の中と、印を付け、其所へ折を付け、衿を揃へ、待針
を刺し、左右共裾より、衿を縫付け、折目は、衿の方へ付け、縫込
の端を折りて、身ごろへ新付け、衿先の所を、身頃と共、綴ぢ
次に、裾口は、中二分五厘にして、三つ折ふ、針目を三分位
ふ、縫目毎ふ能く、糸止をふして、新付け、次に表衿と裏衿と
にて、身頃を挟み、脊縫より、左右へ衿を付け、下げ、衿先の所は
極めて、浅く、衿を縫ひ、衿先ハ、一分中を縫ひ、折目を、裏の方へ
返して、綴付け、次に、前身頃の縫込を、衿より、比べて、斜に、引き張

り、縫込を正しくおして、衿は、綴付け、衿中の印を、付け、衿先を
能く、綴ぢ、衿を、新け、然る、後、木綿物、さら、霧水、を、吹き、皺、を、能
く、伸し、正しく、畳、置、く、ふり。

○女單物の縫方ハ、衿を、廣く、新け、八つ口を、明け、揚、の、ふ、き、の
み、ふ、して、其、の、餘、を、男、服、と、同、様、ふ、れ、バ、之、を、記、さ、む。

○女服衿の縫方。先づ裏袖は袖口を掛け、次に裏袖を向ふ、
表袖を自己の方へ持ち、口明の印を合せ、表と裏とを少し、緩
く、袖口の、み、を、少、く、引、き、つ、り、て、縫、ひ、五、厘、き、せ、を、掛、て、折
目は、表、の、方、へ、返、し、次、に、左、の、袖、ハ、表、を、自、己、の、方、に、持、ち、口、明
を、四、枚、共、ふ、止、め、夫、れ、よ、り、袂、の、所、迄、縫、ひ、糸、を、切、り、下、に、置、き
袖中の、印、を、附、け、巾、及、び、丈、も、表、を、緩、く、し、て、八、つ、口、を、縫、ひ、折

女服衿の縫方
如何して可
か其の順
記せよ

目は裏の方へ返し次に袖下は四枚共縫ひ袖形を拵へ表の方へ折を付け引返し縫目を正しくして懸糸を掛け次は表と裏の脊と脇を縫ひ裾を合せ袷を極めて針目を五分位小して表へ二針裏へ一針裏前中へ三針裏後中へ四針出して袷綴をおし次は脊と脇の縫目を綴ぢ身の八つ口を縫ひ袖附の身頃と袖を四枚共糸止をおし表の方へ身頃を一分縫代よおして袖を少し緩く縫付折目の袖の方へ返し裏袖は一分の縫代よおして身頃縫ひ付其縫込ハ身頃の方の折を付次は前中の端を表と共綴ぢ前中及び抱の中と其の中間と小印を付け次は裾を拵へ袷を裾より四つ縫い折目は表の方へ付け袷中ハ表と裏とを揃へて折を付け裾

下を縫ひ引返して正しくし袷先を身頃と共綴附け表衿と裏衿とよて身頃を挟み脊より左右へ衿を附下げ衿先の所ハ衿を極めて淺く縫ひ衿先は一分中を縫ひ折目は裏の方へ返して縫付前身頃の縫込は衿よ比べて斜に引き伸し衿中の印を付け衿を拵け然る後之を畳み置くなり。

○男服衿の縫方ハ衿を拵附け八つ口を明けむ揚をおまのふおして其の餘ハ女衿の縫方と異なる事おけれむ之を略す。

〇二丈八尺三寸の布を以て、男服袴社の裁方図及び積方。

但し袖丈一尺四寸五分、衿下り四寸五分。
積方の解。

社	社共	ミ	ミ	テ	テ
共	社	ロ	ロ		
袴	袴				

袖丈一尺四寸五分
衿社地六尺九寸
衿丈四尺八寸
袴丈三尺四寸五分
身の丈三尺九寸
衿肩守五寸

$$14.5 \times 4 = 58.$$

$$283 - 58 = 225.$$

$$4.5 \times 2 = 9.$$

$$225 + 9 = 234.$$

$$234 \div 6 = 39.$$

$$39 \times 2 = 78.$$

$$78 - 9 = 69.$$

袖丈の四倍を総尺より減じ、衿下りの二倍を加へ、六分除せば、身の丈を得、又身の丈を二倍し、衿下りの二倍を減じれば、衿社地を得るなり。

〇二丈七尺の布を以て、女服釣社の裁方図及び積方。

但し袖丈一尺五寸五分、裾下二尺二寸、衿下り五寸。
積り方の解。

社	社五	ミ	ミ	テ	テ
袴	袴	ロ	ロ		

袖丈一尺五寸五分
衿肩守五寸
身の丈三尺八寸五分
袴社地五尺五寸五分
袴丈四尺八寸
袴丈三尺二分

$$15.5 \times 4 = 62.$$

$$270 - 62 = 208.$$

$$208 - 22 = 186.$$

$$186 + 5 = 191.$$

$$191 \div 5 = 38.2.$$

$$38.2 + 22 = 60.2.$$

$$60.2 - 5 = 55.2.$$

袖丈の四倍を総尺より減じ、其の残りより、裾下の二尺二寸を減じ、衿下りの五寸を加へ、五よて除せば、身の丈を得、又身の丈へ裾下の二尺二寸を加へ、衿下りの五寸を減じれば、衿社地を得るなり。

女服を裁つふ
袖丈一尺六寸
身の丈四尺裾
下二尺二寸社
下四寸にさ
んとせば其用
布幾許なりや
但し釣社
男服を裁つに
袖丈一尺四寸
五分、衿下四寸
五分、身の丈三
尺八寸五分、
ふさんとせば、
其用布何程な
りや
但し袴社共
袴付

二丈七尺五寸の布を以て男服を裁つ小袖一尺五寸裾下二尺社下三寸五分はせば身の丈及び衿社地如何

二丈七尺八寸の布を以て男服を裁つ小袖一尺四寸社下四寸裾下二尺ふさば身の丈及び衿社の何程あるか

○二丈七尺五寸の布を以て男服裁方の図及び積方。

但し袖丈一尺四寸五分裾下二尺社下三寸。

ソテ	袖丈四寸五分
ゴミ	衿肩二寸三分
ミ	身の丈四尺
ゴロ	衿肩寸三分
エ	裾下二尺
リ	社丈三尺七寸
キ	衿社地五寸
	衿丈四尺寸
	社下三寸

積方の式

$$145 \times 4 = 580$$

総尺

$$275 - 580 = 217$$

裾下

$$217 - 20 = 197$$

社下

$$197 + 3 = 200$$

身丈

$$200 \div 5 = 40$$

裾下

$$40 + 20 = 60$$

社下 衿社地

$$60 - 3 = 57$$

裁方。先づ二丈七尺五寸の中より五尺八寸切りて、兩袖とあし次に一丈六尺切りて、身頃とし、残りの五尺七寸を衿社とす。

但し社中五寸社長三尺七寸、裾下二尺裁切。

積方の解。袖丈一尺四寸五分の四倍、即五尺八寸を総尺の中より減むれば、二丈一尺七寸とある。又此の内より裾下の二尺を減むれば、一丈九尺七寸となる。これに社下三寸を加ふれば、二丈とある。之を五分せれば、四尺となる。即身の丈あり。これに裾下二尺を加へ、六尺を得。此の内より社下三寸を減じ、五尺七寸とある。之を衿社とふきあり。

二丈八尺五寸
の布を以て袖
丈を一尺五寸
衿下を四寸五
分とし、衿襟
裁の積方を問

ソデ	ゴロ	ミ	エ	四	五
ソデ	ゴロ	ミ	エ	四	五
ソデ	ゴロ	ミ	エ	四	五
ソデ	ゴロ	ミ	エ	四	五

袖丈一尺五寸
但し袖丈一尺四寸五分身の丈三尺八寸五分衿
下り四寸五分の用布を求むる法。
積方の解。
袖丈の四倍と身の丈の六倍とを合せ、
夫れより衿下りの二倍減むれば用布
を得るなり。

積方式
 $14.5 \times 4 = 58.$
 $38.5 \times 6 = 231.$

$58 + 231 = 289.$

$4.5 \times 2 = 9.$

$289 - 9 = 280.$ 用布

○常中の布を以て、男服棒衿の裁方及び積方。

衿先を縫ぎ様
衿下を七寸八
如何なる裁方
をふるか。
又其積方を記
せ。

ソデ	ゴロ	ミ	エ	四	五
ソデ	ゴロ	ミ	エ	四	五
ソデ	ゴロ	ミ	エ	四	五
ソデ	ゴロ	ミ	エ	四	五

衿丈一尺六寸
但し袖丈一尺六寸、衿下り五寸。
積方式
 $16 \times 4 = 64.$
 $27.5 - 64 = 211.$
 $211 - 24 = 187.$
 $187 + 6 = 192.$
 $192 \div 5 = 38.4$ 身の丈
 $38.4 + 24 = 62.4$
 $62.4 - 5 = 57.4$ 衿社地

高等科二年級第三期

○二丈七尺五寸の布を以て、衿先縫ぎ棒衿女服の裁方図及び積り方

積方の式

積方式
 $16 \times 4 = 64.$
 $27.5 - 64 = 211.$
 $211 - 24 = 187.$
 $187 + 6 = 192.$
 $192 \div 5 = 38.4$ 身の丈
 $38.4 + 24 = 62.4$
 $62.4 - 5 = 57.4$ 衿社地

裁縫教科書卷之二

裁方の順序。二丈七尺五寸の中より、六尺四寸切りて、両袖とし、次一丈五尺三寸六分切りて、身頃とし、残りの五尺七寸四分を半中二割り、衿丈四尺八寸切り、其の残りを下前の衿先二継ぐあり

積方の解。袖丈一尺六寸の四倍即六尺四寸を総尺二丈七尺五寸の内より減ずれば残り二丈一尺一寸となる。又此の内より衿丈二尺四寸を減ずれば残り一丈八尺七寸となる。これに衿下五寸を加ふれば一丈九尺二寸となる、之を五分をれを、三尺八寸四分を得、即身の丈あり。身の丈は衿丈二尺四寸を加ふれば、六尺二寸四分となる。此の内より衿下五寸を減じ、五尺七寸四分を得、即衿衿地あり。

巾二丈三寸長
一丈一尺を
以て男服を裁
つは袖丈を一
尺五寸にせ
身の丈は何程
ありや。

シ	マ	デ	ソ	六五
ロ		デ	ソ	九五
ヒクヲ	ヒクヲ	リ	エ	キ
身の丈四尺	衿肩一寸半	衿巾一寸	袖丈一尺五寸	
	衿巾一寸	衿長三尺七寸	袖巾九寸五分	
	裾下二尺五寸			

○巾二尺四寸長さ一丈一尺の布を以て、男服裁方の図及び積方
但し袖丈一尺五寸にして、身の丈を求むる法。

積方の解。

袖丈を二倍し、之を総尺より減じ、二は除せば、身の丈を得るなり。

裁方の順序。一丈一尺の片端より、巾五寸
縦に断ち、之を四尺八寸切りて、衿とかり、残
りの六尺二寸を衿丈三尺七寸、裾下二尺五寸
として、共五五分切り、込込の如く斜に裁ち、
左右の衿とかり、次一尺九寸巾の物を三尺
切りて、両袖とかり、残りの八尺ある切を
身頃とまゐるなり。

積方の式

$$1丈 \times 2 = 30$$

$$110 - 30 = 80$$

$$80 \div 2 = 40$$

身の丈

巾一尺二寸長
袖丈二尺六寸
襟縮袖二尺六寸
女服裁袖丈一尺五寸二
七寸身寸五寸
軒寸五寸

リ工	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
リ工	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ

袖丈四尺八寸
袷丈三尺六寸
袷地丈一尺

身の丈三尺五寸

袖丈六寸
袷肩寸五分

○常巾五丈五尺の布を以て、女服二枚鉤袷の裁方、及び積方。但し袖丈一尺六寸、裾下二尺二寸、衿下り三寸五分。

積方の解。

$$16 \times 8 = 128$$

$$550 - 128 = 422$$

$$422 - 22 = 400$$

$$400 + 3.5 = 403.5$$

$$403.5 \div 9 = 44.83$$

$$44.83 + 4.8 + 2.2 = 51.83$$

$$51.83 - 3.5 = 48.33$$

袖丈の八倍、即ち一丈二尺八寸と、衿丈の四尺八寸及び裾下の二尺二寸とを、総尺五丈五尺の中より、減し三丈五尺二寸を得、これに衿下りの三寸五分を加へ、九尺一除し、身の丈三尺九寸五分より、衿丈の四尺八寸と、裾下の二尺二寸とを加へ、一丈九寸五分を得、是より衿下りの三寸五分を減すれば、衿袷地を得るなり。

後	前	デソ	デソ 九五
		ヒクヲ	ヒクヲ
	前身の丈四尺	リ工	エ 墨

衿肩寸五分

衿丈五尺

袖丈三尺六寸

○巾一尺九寸のフラ子ルを以て、女服裁方の図、及び積方。但し袖丈一尺六寸五分、身の丈四尺の積方。

積方の解。

$$16.5 \times 4 = 66$$

$$40 \times 2 = 80$$

$$66 + 80 = 146 \text{ 用布}$$

袖丈の四倍と、身の丈の二倍とを合せば、用布を得るなり。

○男服綿入縫方。

先づ袖裏に表袖より六分廣くある様は袖口を掛け、縫目を袖口の方へ返し、躰糸を掛け、次に袖附を右に持ち、袖下を縫ひ、袖口明を止るときは裏の方を一分程緩くし、縫代四分にして、能く糸止をなく、次に袖形を五つ以上稜を取りて、捲へ、袖附を右に持ち、左の袖は自己の方へ返し、右の袖は自己の向ふへ返し、次に表袖の裏を見て、袖を縫ひ、袖附を右に持ち、左の袖は自己の向ふへ返し、右の袖は自己の方へ返し、引き返して、左の袖は袖附の方より始め、口明の周圍に躰糸を掛け、右の袖は口明より始め、袖附迄躰糸を掛け、次に並の物ならぬ、袖中九寸は印を付け、裏袖を袖口の上の方を表袖より

六分廣く印を付け、口明より下は表の袖中と同様は印を付け、人形袖ならば、人形を縫ひ置き、次に表の身頃を取り、衿肩を右に持ち、脊を縫ひ、折目を自己の方へ返し、後中八寸、肩中八寸五分は印を付け、次に後の揚を、袖附より一寸下に於て脊縫を能く合せ、待針を刺し、後中の所のみ縫ひ、縫込を裾の方へ返し、前の揚は後の揚より又一寸下げておし、折目ハ裾の方へ返し、次に脇縫をおし、其の折目は前身頃の方へ返し、次に袖附より、肩中の印迄斜に折を付け、袖附を身頃と袖とを共に浅く止め、身頃の方を折りて、始と終り一寸程の間は浅く縫ひ、夫れより上は、一分位の縫代にして、小針は縫ひ、折目ハ袖の方へ返し、次に前中六寸五分、抱六寸、其の中間六寸

二分五厘の印を付け、裾口を衽と身頃とを揃へ、待針を刺し、左右共裾より衽を付け、折目も衽の方へ返し、次に脊縫より左右へ衽を付け、下げ、次に衽肩を右に持ち、裏の脊を縫ひ、折目は自己の向ふへ返し、次に後中八寸、肩中八寸五分の印を付け、次に裏を肩に揚をあし、其の折目は後の方に返し、脇を縫ひ、又袖を付け、折目は身頃の方へ返し、但し袖中に縫ひあるときは之を一分の縫代より次に衽と衽とを付け、但し衽を附くるより前身頃折りて衽を縫ひ附くるあり。次に裏を自己の向ふより表を自己の方へ持ち、裾口の縫目を揃へ、待針を刺して、二分の縫代より裾を縫ひ合せ、裾を揃へ、五厘きせを掛け、表の方へ折目を付け、裾の所を針目を五分位よりかくし、躰糸を掛け、次に裾口及び裾下より躰

糸を掛け、双方の縫目を烙鏝までのし、付け、正しく夜着疊とをべし。

○綿の入れ方。

裏を疊み置き、表の後の方を見て、引き伸し、裾口を二三寸長く脊筋より継ぐ様、綿を置き、袖口と裾口とへ衽綿をくるみ、次に衽の位を見て、縫目を揃へて、綿の上に裏を引き伸し、次に前裏の方へ綿を置き、次に前表の方より、袂へ手を入れ、袖口と袂とを共し持ち、引き返し、裾口も前の表の方より手を入れ、左の手より脇縫を持ち、右の手より、裾先を持ち、引き返し、次に双方引き合せ、疊み置くふり。

○紵方。

針目を一寸位ふちして袖に綿を縫ひ付け、口明を表と裏との間より、共止め針目、二三分位に紵け、終り一寸程紵け返し、次は表と裏との間より、衿先を止め、一分中を縫ひ折目、裏の方へ返して之を縫ひ付け、次は裏と表との縫目を合せて、衿を綴附け衿中の印を付け、衿を紵け、次は衿の位を見て、衿綴をちり又脊と脇との縫目を一尺程綴ち、衿ハ衿先の處迄綴ち、次は裾下を紵然る後正しく畳み置くあり。

○女服綿入通常の縫方、ハつ口を明け、衿を開き、紵よめるのみ、ちりて其の他、男服縫方の順序と同様、ちり之を略す。

○女服綿入やつ口の縫方、並は綿の入れ方。

先づ表と裏との袖を縫ひ、袖中の印を付け、裏袖を自己の向

ふ、表袖を自己の方へ持ち、表を緩く、裏袖の方へ綿を當て、共は縫ひ引き返し、縫目を正し、繫糸を掛け、次は身頃ハ通常、の如く縫ひ、表と裏との間に、身のやつ口を裏表共止止め、裏の方へ綿を當て、縫ひ付け、其の糸を以て、表袖及び裏袖を附くるなり。綿を入るゝよ、衿肩より表と裏の間より手を入れて、引き返し、表身頃の後の裏を見て、綿を置き、又裾綿をくるみ、衿肩の所より、裾迄手を入れ、兩脇の衿の所を持ち、引き返し、次に袖及び前身頃へ綿を入れ、引き返し、正しく引き合せ、畳み置くあり。

紵方の順序を第一袖口 第二衿 第三衿綴 第四布綴 第五裾下とす。

高等科三年第一期

○縫方。

前期の續き。

○男綿入印の附方。

先づ表袖の表を中より二枚揃へ、二つを折り、袖下を右より袖口を自己の向ふよりして、下より置き、袖丈と袖口とは寸法より一分長く印を附け、裏袖の表袖より五厘短く印を附け、余の表袖と同一事次に身頃も表を中より二枚揃へ、裾口を右より、後身頃を上より、脊を自己の方にして、下より置き、袖附の印を附け、衽下は、後身頃を二枚除きて、印を付け、丈は出来上の寸法より五分長く印を附け、其餘の長き部分、中揚に、揚の仕方、衿

肩を五分後の方へ去り、袖附より一寸下げて、四枚共に印を

附け、二寸揚あるときは、其の印より又一寸下げて印を附け、

但し下の印を山次に裏身頃も表を中より二枚揃へ、二つを折り

ふおして縫ふ也裾口を右より後身頃を上より脊を自己の方よりして、下より置き、表より

衽の二倍丈長く印を付け、但し寸法より長き時は裾口より次に袖附と

衽下との印を附け、次に表衽を中表より二枚揃へ、裾口裾先の

方を五厘程切り下げ、次に裏衽を中表より二枚揃へ、裾口を右より裾下

を自己の方よりして、下より置き、其の上より衽の二倍丈短く表衽を

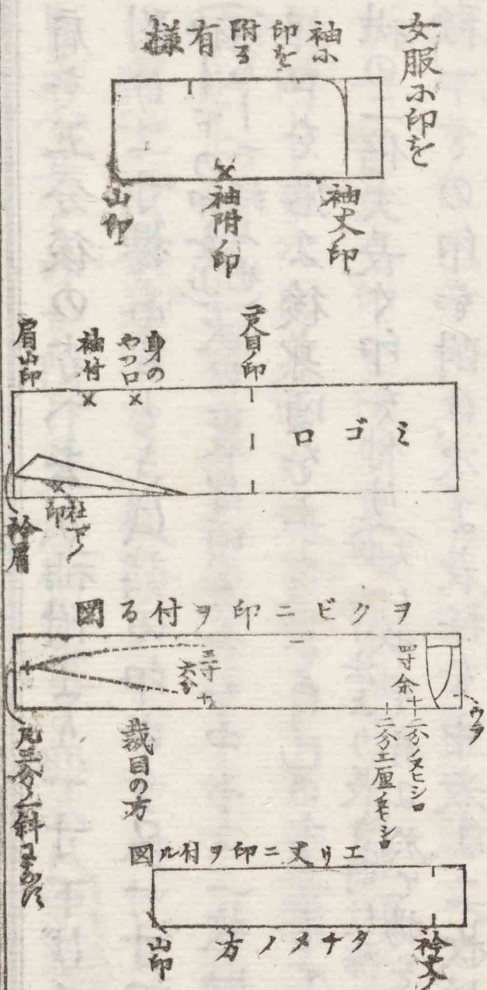
載せ、裾先は、裾下の方より二分五厘、裾の方を二分位の縫代より印を附け、其

の印より衽中と裾下との印を附け、又合裾も、衽付の方より下より

五分狭く印を付け、衽先は、夫れより又四分程狭く印を付け、又衽

丈の印を附け、次は衽丈の印より、裾下の印迄、衽を附くる所の印を斜に附け、又衽丈の寸法を度り、(衽丈の度り方は、裾下の印より、衽先の印迄と、衽下と衽肩とを加へ、之より二分ゆゑるくま)次は裏表の衽を揃へ、二つ小折り、山の印を附け、又衽丈の印を附くるなり。(但し、単衣からバ寸法より丈を、長く裾下は、五分長くもるなり)

又腰の曲りたる人は、揚うて前の方を短くある様小縫ひ、腹の肥へたる人は、揚みて前下りを附くるを宜しとす。



篋及び烙鏝熨斗等の使用法。

○篋は、竹、木、或は角等より造りたるものを宜しとす。又之を用ふる前、先づ砥石にてよく其の先を摺り、然る後用ふべし。かくせさもば切地を傷つくることあり。又堅き木の上にて印を附くるときは、是れ亦品物に疵の附く事あるを、よく注意せよ。

○烙鏝も、衣服の縫目等を正しくする道具なれども、之を根柢用ふるときは、品物を焦す事あり。依りて用ふる前、白紙に當て、其の熱度を試み、然る後用ふべし。

○熨斗の柄へ方、種々あれども、口の開きたる形を宜しとす。熨斗を用ふる時は、火を堅に入れ、是れも最初白紙に當て、熱度を試み、然る後用ふべし。

常中長サ二丈七尺二寸五分
 尺五寸ノ布ヲ
 以テ裏地ニ
 裁裁ニ袖丈一
 尺五寸社下五
 寸ニテ社下
 社ニ裁ク
 九セバ身ノ丈
 兼ニ社地ハ
 何程ナリヤ

エリ	ク フ ビ	ゴ ミ ロ	ゴ ミ ロ	ソ テ	ソ テ
袖丈二尺四寸	社半中 社社地五尺一寸五分 社丈三尺四寸五分	社下中 社社地五尺一寸五分 社丈三尺四寸五分	身丈三尺一寸	社下中 社社地五尺一寸五分 社丈三尺四寸五分	袖丈四寸五分

積り方
 $145 \times 4 = 58$
 $2725 - 58 - 24 = 1905$
 $1905 + 45 = 195$
 $195 \div 5 = 39$ 丈
 $39 + 24 = 63$
 $63 - 45 = 18$ 社社地

積り方解。

袖丈の四倍と社
 丈の二尺四寸と
 を惣尺より減
 社下りの四寸五分
 を加へ五に除せ
 ば身の丈を得
 身の丈へ社丈を
 加へ社下りを減
 ざれば社地を
 得るなり。

ク フ ビ	ス ソ	ス ソ	ス ソ	ス ソ
社二尺一寸	同	同	同	裾廻り二尺一寸

積り方
 $11 \times 4 = 44$
 $44 + 25 + 5 = 74$ 用布

常中の布を以て、裾廻り裁方。

常中ノ布ヲ以
 テ裾廻リヲ裁
 タントスルニ
 裾ノ高サ一尺
 五寸堅括ニ
 五寸社先ノ切
 五寸トニハ其
 用布何程ナリ
 ヤ。

ク フ ビ	ス ソ	ス ソ	ス ソ	ス ソ
2.5 堅括	10	10	10	10

積り方
 $70 - 50 = 40$
 $40 \div 4 = 10$ 裾廻り

巾八寸五分長さ七尺の布
 を以て、裾廻り裁方。

巾一尺二寸五分長さ六尺の布
 を以て、裾廻り裁方。

ク フ ビ	ス ソ	ス ソ	ス ソ
2.5	2.5	2.5	2.5
15	15	15	15

積り方
 $60 \div 4 = 15$ 裾廻り

裁縫教科書卷之二

巾一尺二寸ノ
布ヲ以テ振袖
ヲ裁クトス
ルニ袖丈二尺
八寸身ノ丈四
尺一寸ニセバ
其用布何程ナ
リヤ。
但シ裾廻シ
ナシ。

○巾一尺二寸長さ三丈八尺四寸の布を以て女服引返し裁方の図及び積り方。
但し袖丈一尺七寸、裾廻しの高一尺三寸。

袖	袖	袖	九寸	七寸	ゴ	ミ	ソ	デ
身丈四尺寸	裾廻し一尺七寸	袖丈一尺七寸	袖中九寸五分	袖口九寸五分	裏袷二尺寸	袷袷二尺七寸	袷袷二尺七寸	袷袷二尺七寸

積り方の式。
 $17 \times 4 = 68$
 $284 - 68 = 216$
 $216 \div 4 = 54$
 $54 - 13 = 41$ 身ノ丈

12	5	7	12	25	25	7	7	3	3
ス	マ	ウ	ハ	ミ	メ	ム	リ	マ	メ
社	マ	ウ	ハ	ミ	メ	ム	リ	マ	メ

巾一尺二寸長さ三丈二尺
分片面物ヲ以テ女
服無垢一枚ニ身被
布一枚ノ裁方
袖丈二枚共一尺七寸
袷袷二尺七寸
袷袷二尺七寸
袷袷二尺七寸
袷袷二尺七寸
袷袷二尺七寸
袷袷二尺七寸
袷袷二尺七寸
袷袷二尺七寸
袷袷二尺七寸

積り方。
 $12 \times 8 = 720$
 $12 + 40 = 52$
 $52 \times 4 = 208$
 $428 - 208 - 720 - 25 = 75$
 $75 - 3 = 72$
 $72 \div 3 = 24$
 $24 + 15 = 39$ 前丈

巾一尺三寸ノ
布ヲ以テ女服
ヲ裁クニ袖
丈一尺五寸身
ノ丈四尺五寸
ニセバ
其用布何程ナ
リヤ。

○巾一尺三寸の布を以て女服引返し裁方の図。
但し袖丈一尺八寸身の丈四尺二寸、裾廻し一尺四寸。

ソ	デ	ソ	デ	ソ	デ	ソ	デ	ソ	デ
袷袷二尺七寸	袷袷二尺七寸	袷袷二尺七寸	袷袷二尺七寸	袷袷二尺七寸	袷袷二尺七寸	袷袷二尺七寸	袷袷二尺七寸	袷袷二尺七寸	袷袷二尺七寸

高専科三年第二期
 積り方の式
 $18 + 14 + 42 = 74$
 $74 \times 4 = 296$ 用布

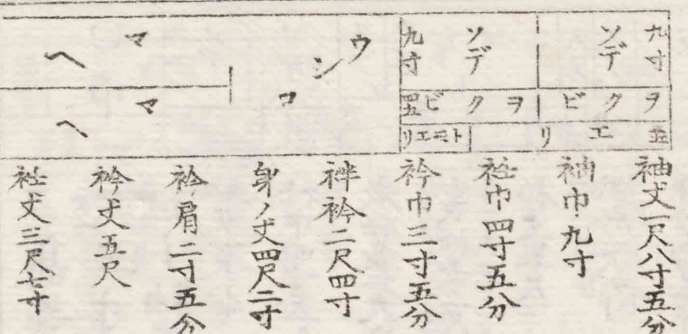
裁方。
 袖丈一尺八寸の四倍即ち七尺二寸を惣丈の内より切取
 り中九寸五分に堅断き之を両袖と取り次小残
 りの切の物より中四寸五分堅断き之を袷袷及堅
 裾共衿と取り残り残りの廣き方を身頃と裾廻しをを

積方の解。
 袖丈と裾廻の高さと身の丈とを和して四倍して
 用布を知るなり。

一尺七寸五
分長サ一丈四
尺の切ヲ以テ
交服の表ヲタ
ツニ袖丈一尺
五寸ニナサバ
身の丈何程ナ
リヤ

○巾一尺七寸、長さ一丈五尺八寸の布を以て、女服表の裁方図。

但し袖丈一尺八寸五分。裁方。



袖丈一尺八寸五分
袖巾九寸
袖巾四寸五分
袖巾三寸五分
裨衿二尺四寸
身ノ丈四尺二寸
衿肩二寸五分
衿丈五尺
衿丈三尺七寸

積り方の解。
袖丈四倍し、之を総尺より減じ、其残りを二に除せば、身の丈を得るなり。

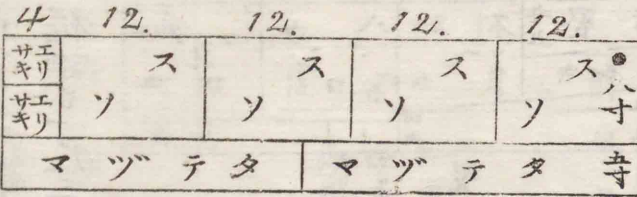
袖	袖	身	身	項	項
袖丈一尺七寸五分	袖巾九寸	身ノ丈四尺二寸	身ノ丈四尺二寸	衿肩二寸五分	衿丈五尺

積り方の式
 $17.5 \times 4 = 70$
 $27.5 - 70 - 4.8 = 157$
 $157 \div 4 = 39.25$ 身ノ丈

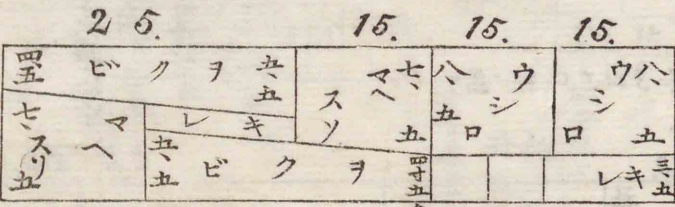
余湯巾紗
ノ寸法
小七寸五分四
方中八寸五分
四方六九寸五
分四方ノ出来

○巾一尺三寸長サ五尺二寸ヲ以テ裾廻シ車裁ノ裁方。

○巾一尺二寸長サ七尺、布ヲ以テチギリ裁レ裾廻シ裁方。



二尺六寸
二尺六寸
二尺六寸
積り方。
 $5.2 - 4 = 1.2$
 $4.8 \div 4 = 1.2$ 裾の高サ



但し、縦裾二尺五寸
 $70 - 2.5 = 67.5$
 $67.5 \div 3 = 22.5$ 裾高サ

八五	後	身	前	六五	九寸
九寸	袖	後	身	前	九寸
九寸	袖	後	身	前	九寸

袖積り方。
 $17 \times 2 = 34$
 総尺
 $110 - 34 = 76$
 $76 \div 2 = 38$ 身丈

衿丈三尺三寸
 衿丈四尺六寸中寸五分
 衿肩二寸五分

巾二尺長サ丈一尺の布を以テ女服裁方。
 袖丈一尺七寸

○参考之部

6.23	25	15	13	12	15	15	15	25	31	31
衿共	衿	堅表	衿	衿	後	前	前	ス	袖	袖
レキ	レキ	レキ	レキ	レキ	レキ	レキ	レキ	レキ	レキ	レキ
尺五	尺五	尺五	尺五	尺五	尺五	尺五	尺五	尺五	尺五	尺五
15										

袖
 $15.5 \times 4 = 62$
 身丈
 $42 + 15 + 15 + 25 + 13 = 110$
 $110 \times 2 = 220$

袖 衿 表 衿
 $220 + 62 + 28 + 6 + 15 = 331$ 用布

巾一尺七寸五分の布を以テ女服無垢上着一枚下着廻り無垢一枚の裁方。
 袖丈一尺三寸五分
 身丈四尺二寸
 衿先寸五分
 衿丈三尺五寸五分同中寸五分
 衿丈五尺中寸五分
 衿肩二寸五分

日シ廻裾

五七	マ	レキ	ス	2七	ハ	ウ	ウ
五	ハ	五	ソ	五	五	シ	ハ
							レキ

廻裾積り方式
 $65 \div 5 = 13$ 裾廻高
 $13 \times 2 = 26$ 堅裾
 15. 15. 15.

前	前	七寸	後
マ	マ	マ	マ
5	25		

5. 衿先寸五分
 $45 \div 3 = 15$ 裾高サ
 18. 33. 32. 32.

エ	社	頃	身	頃	身	袖	袖
リ	29						
リ	社						

衿ハ三寸割ニシテ縫ナリ
 袖
 $16 \times 4 = 64$
 $260 - 64 = 196$
 $196 - 13 = 183$
 $183 + 4.5 = 187.5$
 $187.5 \div 5 = 37.5$
 $37.5 - 4.5 = 33$ 身丈
 衿肩寸五分
 袖丈一尺三寸五分
 巾九寸五分長サ丈六尺、
 尺面物ヲ以テ女服裁方。
 但シ衿縫キ
 袖丈四倍と云々
 ヲリ減シ次ニ衿の一
 尺三寸を減シ其残
 リへ下りの四寸五分
 を加へ三除セ身
 の丈を得る又身の
 丈より四寸五分ヲ減
 六衿丈ヲ得ルナリ。

27		31		31		31	
リ	リ	エ	エ	エ	エ	エ	エ
頃身		頃身		頃身		頃身	
七五		七五		七五		七五	
社	社	袖	袖	袖	袖	袖	袖
頃身		頃身		頃身		頃身	
七五		七五		七五		七五	
ピクヲ	ピクヲ	ピクヲ	ピクヲ	ピクヲ	ピクヲ	ピクヲ	ピクヲ

○巾二尺八寸五分長サ二丈八尺布
 第一 第二 第三
 ヲ以テ女服一枚四ツ身三枚ノ裁方
 参考ノ部

- 第一 袖 $15.5 \times 4 = 62$
 $21 - 3 = 18$
 裾社下 $280 - 62 - 18 = 200$
 $200 \div 5 = 40$ 女服身丈
- 第二 袖 $15 \times 10 = 150$
 $280 - 150 = 130$
 $130 \div 4 = 32.5$ 四ツ身身丈
- 第三 袖 $15 \times 2 = 30$
 $280 - 30 = 250$
 $250 \div 8 = 31.25$ 四ツ身身丈

- 第一積リ方解。
 袖丈ノ四倍ト裾下ヨリ裾下リヲ減シタル者トヲ総尺ヲ減シ残りヲ五ニ除セバ女服ノ身丈ヲ得ルナリ。
- 第二積リ方解。
 袖丈ノ十倍ヲ総尺ヨリ減シ残りヲ四ツニ除セバ四ツ身一枚ノ身丈ヲ得ル。
- 第三積リ方解。
 袖丈ヲ二倍シ之ヲ総尺ヨリ減シ残りヲ八ニ除セバ四ツ身二枚ノ身丈ヲ得ルナリ。

15		14		15		15	
前	後	後	前	袖	袖	口	袖
裾堅	裾堅	裾堅	裾堅	裾堅	裾堅	裾堅	裾堅
27	27	27	27	27	27	27	27

巾一尺一寸布ヲ以テ女服無垢上着裁方。
 袖丈一尺一寸
 身丈四尺一寸
 積リ方解。
 $17 + 42 + 15 = 73$
 $73 \times 4 = 292$ 用布
 別ノ用布。
 裾廻シノ二尺
 身丈四尺一寸
 次ニ堅裾ノ二尺五寸ト袖口一尺五寸和シテ之ヲ二倍シテ八尺ヲ得此八尺ト裾廻シノ二丈二尺四寸ト袖ノ三丈四寸ヲ和シテ用布ヲ知ルナリ。

27		27		27		27		30		30	
袖口	袖口	袖口	袖口	袖口	袖口	袖口	袖口	袖口	袖口	袖口	袖口
2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5

巾一尺一寸長サ三丈三尺八寸ノ布ヲ以テ女服廻リ無垢比異ノ裁方。
 積リ方解。
 裏裾ノ二尺五寸ト表裾ノ一尺三寸ヲ和シテ之ヲ八倍シ次ニ堅裾ノ二尺五寸ト袖口一尺五寸和シテ之ヲ二倍シ八尺ヲ得此八尺ト裾廻シノ二丈二尺四寸ト袖ノ三丈四寸ヲ和シテ用布ヲ知ルナリ。
 表前裾
 裏前裾
 表後裾
 裏後裾
 $15 + 13 = 28$
 $28 \times 8 = 224$
 裾堅口袖 $25 + 15 = 40$
 $40 \times 2 = 80$
 $80 + 224 + 34 = 338$ 用布

85	15	15	7	15	7	9	15	7	9
身	頃	袖	袖	身	頃	袖	袖	身	頃
社	社	社	社	社	社	社	社	社	社
85	15	15	7	15	7	9	15	7	9

積り方解。
 裾ノ高サヲ四倍シ
 是ヲ総尺ヨリ減ジ
 袖丈残リヲ四ニ除セバ
 身ノ丈ヲ得ル。

積り方解。
 裾ノ高サヲ四倍シ
 是ヲ総尺ヨリ減ジ
 袖丈残リヲ四ニ除セバ
 身ノ丈ヲ得ル。

85	7	7	7	7	7	7	7	7	7
後	前	前	後	前	後	前	後	前	後
社	社	社	社	社	社	社	社	社	社
85	7	7	7	7	7	7	7	7	7

積り方解。
 総尺ニ社下リノ寸ヲ加ヒ七ニ除キ
 身ノ丈ヲ得ル又袖丈ヲ十二倍シ
 五ヲ総尺ヨリ減シ又二枚分ノ
 裾丈トシテ五尺ヲ減ズバ残
 リハ一枚分ノ裾社地トナルナリ。

積り方解。
 裾下
 $280 + 5 = 285$
 $285 \div 7 = 40.7$ 身ノ丈
 丈袖
 $14.5 \times 12 = 174$
 $280 - 174 = 106$
 $106 - 50 = 56$ 一枚分ノ裾社地

○巾一尺六寸長サ二丈三尺
 ○参考ノ部
 ○巾二尺七寸長サ二丈八尺

85	85	8	8	8	8	8	8	8	8
身	頃	袖	袖	身	頃	袖	袖	身	頃
社	社	社	社	社	社	社	社	社	社
85	85	8	8	8	8	8	8	8	8

積り方解。
 ツ身袖丈血倍及ヒ
 身丈三倍ヲ総尺
 ヨリ減ズバ残リハ
 シヤツノ用布ナリ。

積り方解。
 裾丈一尺九寸裾下
 社丈三尺
 シヤツノ裾

積り方解。
 裾丈一尺九寸裾下
 社丈三尺
 シヤツノ裾

積り方解。
 ツ身袖丈血倍及ヒ
 身丈三倍ヲ総尺
 ヨリ減ズバ残リハ
 シヤツノ用布ナリ。

81	81	81	81	81	81	81	81	81	81
後	前	前	後	前	後	前	後	前	後
社	社	社	社	社	社	社	社	社	社
81	81	81	81	81	81	81	81	81	81

積り方解。
 袖丈八倍トツ身身丈ハ
 二倍トシテ総尺ヨリ減シ残リ
 ヲ四ニ除セバ女ノ服ノ身ノ
 丈ヲ得ル。

積り方解。
 袖丈八倍トツ身身丈ハ
 二倍トシテ総尺ヨリ減シ残リ
 ヲ四ニ除セバ女ノ服ノ身ノ
 丈ヲ得ル。

積り方解。
 袖丈八倍トツ身身丈ハ
 二倍トシテ総尺ヨリ減シ残リ
 ヲ四ニ除セバ女ノ服ノ身ノ
 丈ヲ得ル。

裁縫教科書卷之二

72	50	50	27	35	37	75	47	75	35
袖	襟	襟	ツマテ	袖	社	社	身	身	袖
九寸	四寸	一尺四寸	タテ	タテ	タテ	タテ	タテ	タテ	九寸
九寸	一尺四寸	タテ	タテ	タテ	タテ	タテ	タテ	タテ	九寸

○巾一尺八寸ノ布ヲ以テ女服上着
無垢一枚下着廻り無垢二枚裁方

袖 17.5×4=70.
身丈 41×2=82.
表裾 13×4=52.
77裾 15×6=90.
70+82+52+90+50+27+37+15+12=435.
用布 社 ヲ 襟 多 々

15	41	15	32	74	73
前	身後	袖	社	マヅテ	裾表
前	前	袖	マヅテ	マヅテ	〃
〃	表裾	裏裾	エ	ソ	半
〃	〃	〃	リ	テ	キ
73	〃	〃	マ	マ	先
〃	〃	〃	マ	マ	レ

○巾三尺七寸五分ノ布ヲ以テ女服上着
無垢一枚下着廻り無垢二枚裁方

積り方
73+41+17.5=735
73.5×2=147
147+37+14+13=211
用布 社 ヲ 裾

積り方解
裏ノ裾廻一尺七寸五分ニ身丈四尺一寸ト
袖丈一尺七寸五分ヲ加モ七尺三寸五分
トナル之ヲ二倍シ二丈四尺七寸ヲ得
之ニ社丈三尺七寸トヤツロ一尺四寸
ト表裾廻シ一尺三寸ヲ加三丈一尺寸
トナル則チ用布

尺	五	リ	エ	四
キ	ロ	ク	ヲ	ユ
	ビ	ク	ヲ	ユ
	リ	エ	共	

中一尺八寸長サ丈六尺四寸
ノ布ヲ以テ女服表裁方。
但シ身丈四尺一寸

解 身丈三倍ト襟丈ヲ
総尺ヨリ減シ残リ二尺
ニ寸トナル之ヲ二三除シ
衿肩寸共 袖丈ヲ得ルナリ。

積り方
身丈 41×2=82.
総尺 10尺-82=82.
82-50=32.
32÷2=16 袖丈

七	前	後	八	後	前	七
寸	袖	社	五	社	寸	袖
九	寸	寸	寸	寸	寸	寸

中一尺六寸ノ布ヲ以テ女服裁方。
袖丈一尺六寸
社丈三尺八寸
身丈四尺二寸 衿肩寸五分

積り方
身丈 42×4=168 用布
積り方解
身ノ丈四倍シテ
一丈六尺八寸トナル
則チ用布ナリ。

裁縫科書卷之二

裁縫科書卷之二 二十九

24 ワ シ	24 ワ シ	4 ワ シ	11 ワ シ	11 ワ シ	6 ワ シ	11 ワ シ	袖	袖
リ エ	リ エ	共 衿	社	社	社			

巾一尺一寸長サ三丈二尺、綿八丈ヲ以テ女服上着一枚、口下着廻リ一枚、分ノ裁方

袖丈二尺寸
袖四倍ト衿丈四尺寸
トテ総尺ヲ減シ其残
ヲ四除シ五尺一寸トナシ
此中ヨリ下着ノ裾廻シ
一尺一寸ヲ減シ身丈ヲ
得ルナリ。

積り方解。
袖丈四倍ト衿丈四尺寸
トテ総尺ヲ減シ其残
ヲ四除シ五尺一寸トナシ
此中ヨリ下着ノ裾廻シ
一尺一寸ヲ減シ身丈ヲ
得ルナリ。

15	24	34	27	25	15	27	17	27
表 裏	表 裏	袖 半	袖 半	袖 半	袖 半	袖 半	袖 半	袖 半
リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ
サ キ	サ キ	サ キ	サ キ	サ キ	サ キ	サ キ	サ キ	サ キ

巾一尺七寸布ヲ以テ女服上着無地一枚、下着比異廻リ裁方

積り方解。
袖丈八倍シ次ニ身丈二裾廻シ、
高サヲ加シ之ヲ二倍シ次ニ裏懸裾
ヲ二倍シ次ニ表懸裾ヲ加シ之
ヲ二倍シ此四者及ヒ表懸裾ノ二
尺一寸ヲ合セ用布ヲ知ルナリ。

表懸裾二尺五寸
裏懸裾二尺五寸
表懸裾二尺五寸
裏懸裾二尺五寸
表懸裾二尺五寸
裏懸裾二尺五寸
表懸裾二尺五寸
裏懸裾二尺五寸

積り方。
表懸裾二尺五寸ト
裏懸裾二尺五寸ト
ヲ合セ之ヲ四倍シ次
ニ表懸裾二尺五寸ト
裏懸裾二尺五寸ト
袖丈二尺五寸トヲ合
セ三倍シ此兩者及ヒ
衿先ノ五寸ヲ和ス
ハ用布ヲ得ル

三十

12	73	75	27	34
ワ シ	ワ シ	ワ シ	ワ シ	ワ シ
リ エ	リ エ	リ エ	リ エ	リ エ
サ キ	サ キ	サ キ	サ キ	サ キ

巾一尺七寸布ヲ以テ女服上着一枚、下着廻リ無地比異附裁方

積り方。
袖丈 77×4=68.
身丈 41+75=56.
56×2=112.
112+68+27=207.

表懸裾 75+73=28.
28×8=224. 下着翼用布
224+12=236.
236+207=443. 用布
用布 用布 用布

15	15	75	15	15
表 裏	表 裏	表 裏	表 裏	表 裏
リ	リ	リ	リ	リ
サ キ	サ キ	サ キ	サ キ	サ キ

巾一尺七寸布ヲ以テ比翼廻リ無裁方

積り方。
表懸裾二尺五寸ト
裏懸裾二尺五寸ト
ヲ合セ之ヲ四倍シ次
ニ表懸裾二尺五寸ト
裏懸裾二尺五寸ト
袖丈二尺五寸トヲ合
セ三倍シ此兩者及ヒ
衿先ノ五寸ヲ和ス
ハ用布ヲ得ル

表懸裾二尺五寸
裏懸裾二尺五寸
表懸裾二尺五寸
裏懸裾二尺五寸
表懸裾二尺五寸
裏懸裾二尺五寸
表懸裾二尺五寸
裏懸裾二尺五寸

裁縫教科書卷之二

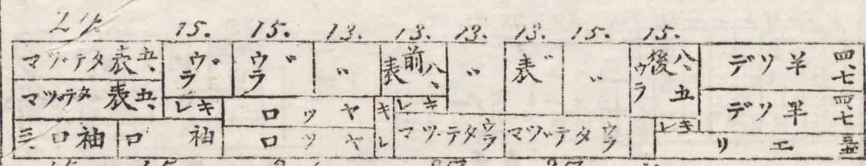


巾一尺一寸長サ三丈二尺ヲ以テ
女服上着一枚下着廻リ一枚分
裁方

積り方解。

袖丈ト身丈トヲ合
セテ四倍シ之ニ
身丈ヲ加エ之ヲ總
尺ヨリ減シ残リヲ
四ニ除セバ裾廻リ
高サヲ得ル。

$$16 + 40 = 56$$
$$56 \times 4 = 224$$
$$224 + 50 = 274$$
$$320 - 274 = 46$$
$$46 \div 4 = 11.5 \text{ 裾廻高}$$



巾一尺一寸長サ三丈二尺ヲ以テ無垢廻リ
裁方

積り方解。

袖丈三倍ト表裾エ
裏裾ヲ加エ之ヲ四倍セ
シ者ト表堅裾三尺
四寸トヲ合スレバ用布
ヲ得ルナリ。

$$17 \times 2 = 34$$
$$15 + 13 = 28$$
$$28 \times 4 = 112$$
$$34 + 112 + 24 = 170 \text{ 用布}$$

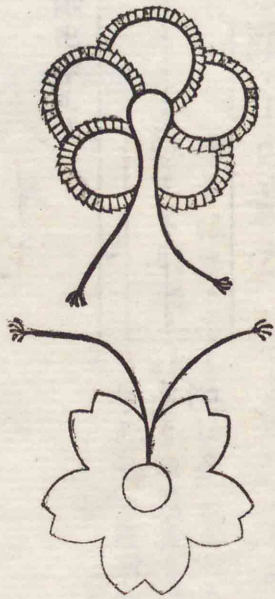
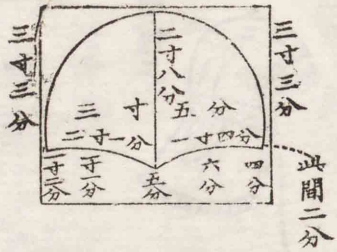
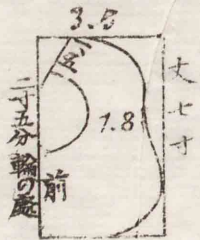
○女單合羽縫方の順序。

先づ表袖の口明の所へ袖口を縫ひ付け、折目は表へ返し、次に口明を合せ、夫れより袖下へ縫廻し、袂を角ふり、次に袖口を縫付けて、引返し、下置き、袖中の印を付け、やつ口を綴ぢ、次に肩當を自己の向ふ、身頃を自己の方に、して、衿肩を右に持ち、脊を縫ひ、折目は自己の方へ返し、次に後巾も、肩巾も八寸づ、に印を付け、脇を縫ひ、折目は、前身頃の方へ返し、次に袖を付け、折目は、身頃の方へ返し、次に巾を八分位にして、裾を縫ひ、次に前巾と、抱及其中間に印を付け、其所へ衿を附け、衿の方へ折目を付け、次に衿先、一分中を縫ひ、折目は、裏の方へ返し、次に、縫付けて、衿衿は、初め、堅に折を付け、次に、横

子機着物揚の
仕方。
腰揚、衿山よ
り裾口を一寸
五分先木出し
て二つを折り、
真直中を山小
なして、前の方
を二分程多く
するを並とす。
又肩揚は二三
歳なれが衿付
より二分は左
し、六七歳なれ
ば縫縫より三
寸三分を山
なにし、十四五
歳なれが背縫
より三寸八分
より四寸の處
で山となし、十
七八歳なれが
四寸三分を
山とす。

西洋懸滄裁方

縫方は表キヤラコに木線の心を入
きて麻の葉などに印を付けて、ミシ
ンを懸け、次小裏を付けて廻りにテ
ツプを取り、後ハボタン二ツ付るな
り。



紐丈二尺紐の心ヲ綿を入る

西洋懸滄の簡單なるは、巾五寸
長さ二尺四寸のキヤラコの裁
目比處にミシン縫になし、次ハ八
分許の處を三四度小針小縫ひ
之を八寸位に縫しめ、其處ミテ
ツプを付て之を紐小代用する
なり。

折を付け、其所へ繋糸を掛け、左を一寸長くして、襟衿を掛け、
然る後之を疊み置くなり。
但し、裕ふらば、双方共四つ縫になすもよろし。衿も四つ縫
にして、引き返すもよろしとす。

裁縫新書

西洋裁方

覆口の子帽の口を校學等高



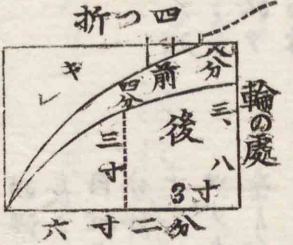
四寸八分
五寸三分
四寸三分



縦方へ總て一分縫代を
せよ。

此帽一つ小付四枚

雪帽子の子裁方



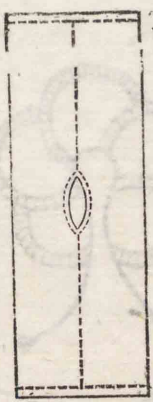
縁ハ別切一寸二分長一尺
後ハ縁の中へ紐を通じ。

輪の處



前ハ巾着ひごを前後に
付けて縁を取るなり。

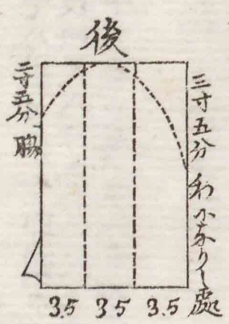
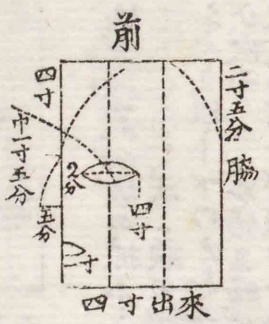
早通頭出来上り



早通頭の用布中一尺五六寸
長さ四尺真中に八寸の口を
明け。

日除頭巾裁方。

丈一尺巾八寸
出来

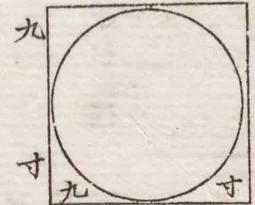


中九寸長さ八尺の絹布を以て。
船底頭巾の裁方。但し裏ハ山とぎ

縫方は裏と表を合せて口の廻りを縫ひ綿を
入きて引返し山とぎの真中を一枚残して他
を四つ縫ひを引返し
て断るなり。



大黒頭巾裁方。



大黒頭巾を裏と表を揃へ
并巾を丸く裁ち七つ程
だを取りて縁を付ける。
但し成るべく前の
ひだを深くする
なり。

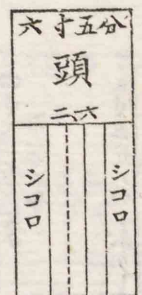


縁巾七分

宗十郎頭巾の
工夫やもの
と云々。

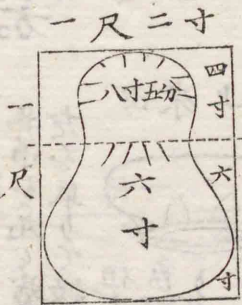
宗十郎頭巾の裁方。

七八歳の宗十郎頭巾の用布木綿巾なれば
表四尺八寸裏三尺三寸若し一尺二三寸の
巾をば裏表にて四尺五寸入用なり。

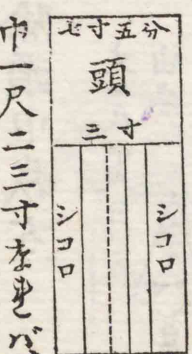
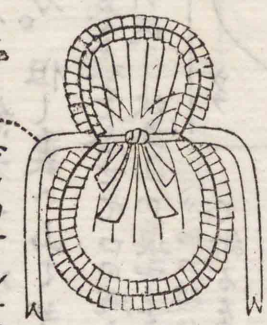


シコロの後ハ袴の後
ひだの縁ハ六七分交
へて付るなり。

一つ身夏ボーシキヤラコ一重にて
巾一尺二寸丈一尺を以て裁方圖



裾は二つ折ふして裁目のまゝミシン
をうけ其上に巾著ひだを付るなり。
ひだの切ハ造花のカンレイ紗を用ふ。



巾一尺二三寸をば表六尺二寸裏木綿巾にて四尺。

縫方ハ最初袋の様ハシコロを縫ひ引返して
正しくなし次ハ頭の切に巾の印を付けて縫
ふなり但し下の方を二寸程表と裏を別に縫
ひ次ハシコロを頭ハ縫付け又締付るなり。
大人の宗十郎頭巾ハ木綿巾九尺五寸入用なり。
但し裏表の分

リボン巾一インチ位丈半ヤルゾ

巾九寸五分長さ二丈八尺の布を以て女合羽裁方の図及び積方。

但し袖丈一尺六寸。

袖	袖	衿	衿	身	身
---	---	---	---	---	---

袖丈二尺六寸

衿切を三尺
たきとあり

衿丈二尺八寸六分

衿肩寸七分

身の丈三尺九寸六分余

積方の解

袖丈二尺六寸の四倍を総尺より減じ其の残りへ足切の三尺を加へ又
衿肩廻り一八寸を減じ残りハ六寸除し身の丈三尺九寸六分余を
得又身の丈の二倍ハ八寸を加へ衿丈を得此の中より三尺を減じ二寸
除せば左右の衿の切二尺八寸六分余を得るなり。

積方式

$$16 \times 4 = 64$$

$$280 - 64 = 216$$

$$216 + 30 = 246$$

足衿の

$$246 - 8 = 238$$

衿肩廻

$$238 \div 6 = 39.6$$

身丈

$$39.6 \times 2 = 79.2$$

$$79.2 + 8 = 87.2$$

$$87.2 - 30 = 57.2$$

切タ

$$57.2 \div 2 = 28.6$$

左右の衿サキ

常巾の布を以て新工夫女合羽裁方の図及び積方。

但し袖丈一尺六寸五分身丈三尺六寸、堅衿の下り四寸五分。
此は仕立方被布仕立合羽とす。

解

袖丈の四倍と、身の丈の六倍とを合せ、堅衿の下りの二倍を減じ、用布を得るなり。

袖	〃	〃	〃	〃
---	---	---	---	---

袖丈一尺六寸五分

堅衿三尺寸五分

身丈三尺六寸

衿肩寸七分

袖 $76.5 \times 4 = 66.$

身 $36 \times 6 = 216.$

新工夫女合羽縫方の順序

$66 + 216 = 282.$

$4.5 \times 2 = 9.$

$282 - 9 = 273$ 用布

但し

小衿は別切巾四寸丈一尺三寸位の切を用ふ。

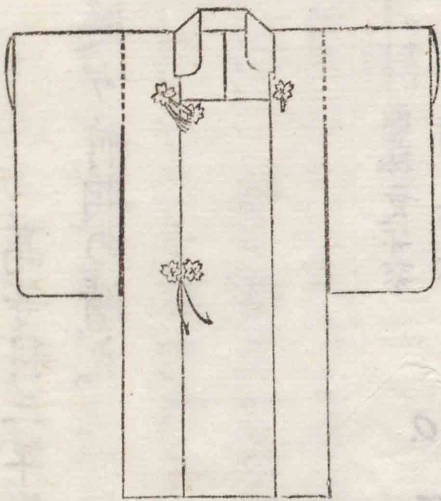
先づ袖口を附けて、通常の如く不持へ脊縫、脇縫、袖附等も通常の如くに縫ひ、裾は凡一尺程折返して、筋次は前身頃ハ巾の印より二分程廣く折を付け、其の縫込の端を前身頃へ綴ぢ付け、堅衿ハ衿肩より五寸下り所より下に付け、衿の上下を縫ひ、其の縫込ハ裏の方へ折りて、紵付くるなり。

但し左の脇縫の裏より上より一尺三寸程下げて紐を付け、右の堅衿もそれより

並へて紐を付け、着る時結び付くるなり。

十六七歳の女合羽出来上りの寸法

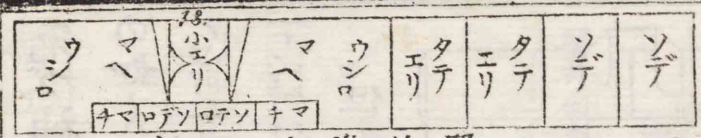
身の丈三尺四五寸、袖丈一尺六七寸、身巾後八寸前六寸、堅衿の中一をい、堅衿の下り五寸、小衿の丈一尺三寸、巾一寸七八分。



高等科三年第三期。

縫方前期の續き。

中九寸五分、長さ二丈三尺の布を以て、單被布の裁方及び縫方。但し袖丈一尺五寸、豎衿のつ下り六寸。



豎衿二尺一寸五分
前下り一寸五分
後丈二尺七寸五分
衿肩二寸七分
前丈二尺九寸一分
袖口一尺五寸五分

積り方式

$$15 \times 4 = 60.$$

$$230 - 60 = 170.$$

小衿

$$170 - 13 = 157.$$

$$6 \times 2 = 12.$$

$$157 + 12 = 169.$$

豎衿子

$$15 \times 9 = 2$$

前下り

$$169 - 3 = 166.$$

$$166 \div 6 = 27.6$$

余 後身量

$$27.6 + 1.5 = 29.1$$

前丈

積方の解。

袖丈の四倍と小衿の丈一尺三寸とを総尺より減ト其の残り一丈五尺七寸へ豎衿の下りの二倍即ち一尺二寸を加へ、其の中より前下りの二倍即ち三寸を減ト、六より除せば、後丈を得。又是に前下り一寸五分を加ふれば、前丈を得るなり。

單被布を仕立つる寸法。

袖丈を着物より三分長く、袖附を着物より一分長く、袖口六寸五分、袖巾八寸七八分、身のやつ口二寸、身の丈二尺四寸五分、行一尺六寸五分、後中七寸五分、前巾四寸八分、襟巾を下の方より一寸八分、上の方より三分、前下一寸、豎衿の下

りは衿肩より六寸小衿の丈一尺二三寸巾三寸以上、四寸位迄なり。

單被布の縫方の順序。

先づ表袖を自己の方に袖口を自己の向ふよして、縫ひ口明を止め、夫れより袖下を縫ひ、袖口を紵附けて、下よ置き、袖巾八寸七分、小印を附け、やつ口を綴次よ脊を縫ひ、折目ハ、自己の方へ返して、下に置き、後巾七寸五分、肩巾七寸八分、前巾五寸よ印を附け、前裾を三つ折みして、襷糸を掛け、前身頃を豎衿ふくるみて縫ひ、衿先を裏の方へ返し、襷巾を、前の方後より二今程多く曲けて、下一寸八分、上三分よ、印を附け、襷と身頃とを揃へて縫ひ、折目ハ、身頃の方へ返

し縫込を綴附け、次よ裾を紵け、次よ袖を附け、折目ハ、袖の方へ返し、次よ小衿の巾三寸五分位よして、月形よ裁ち、心を入れて之を縫ひ、然る後小衿を裏の方よ縫付け、表よ紵附け、次よ打紐の結を附るなり。

○衿の被布縫方の順序。

先づ袖ハ、袷の如くよ拵へ、次よ表身頃を自己の方へ、裏を自己の向ふにして、衿肩を右よ持ち、表と裏とを四枚共よ縫ひ、後巾及び肩巾と前巾との印を附け、前下りは、表は印の處、裏は印を一分縫込、及前巾の印まで縫ひ、折も裏の方へ返し、次よ後の身頃よ襷を挟み、裾口を能く糸止して、夫れより身の八つ口迄縫ひ、此所をも能く糸を止め、身のやつ口をも縫

ひて、引返し、次は前身頃より、襦袢を挟み、後の如く縫ひて、引返
し、次は袖附を、身頃と袖とを共に止め、表袖を附け、折目は袖
の方へ返し、次は裏を附け、折目は身頃の方へ返し、次は前の
身頃より、堅衿をくるみ、衿肩より六寸下りし所より下は縫
附けて、引返し、次は小衿を拵へて、附け、次は打紐の結を附く
るなり。

○被布綿入縫方の順序。

先づ綿入服の如くに袖を拵へ、次は脊を縫ひ、後中七寸五分
肩巾七寸八分、前巾五寸に印を附け、前下りを縫ひ、襦袢巾八、下
一寸八分、上四分は印を附け、身頃を拵へ、待針を刺して、前後
の襦袢を附け、折目ハ、身頃の方へ返し、次は表の前身頃の端へ

堅衿を附け、折目は、堅衿の方へ返し、次に袖を附け、次は綿を
入れ、又紵結紐を附くるなり。

○男帯紵方の順序。

男帯を紵るは、先づ品の伸縮を直し、然る後表を中より、
巾二つ折ふ、巾の印を附け、其所へ折を附け、次は帯心は、
帯皮の縫込丈狭く裁切り、心の方へ真綿を引き、帯の上に置
き、縫糸を二つは割り、それにて表の方に糸を出さぬ様は、心
を帯に綴附け、次は両端を返針より縫ひ、心を縫込丈短く
ふし、綴附け、引返し、所々へ待針を刺し、次は針目を極く細か
く紵け、然る後畳み置くなり。

○女の丸帯を仕立つる順序。

女九帯の仕立方は始めに品の伸縮を直し表を中よりして、巾二つに折り、次よみ、の方を、二枚共よ寝糸を掛け、帯の中の印を付け、其所を一分先へ出しては、五厘後へ返して縫ふ、此の如く返縫よして真中を一尺程縫ひ明け、次に縫目を左右に開き、鑿よその一つつけ、次よ両端を返縫よし、角ハ最初両端の縫込を折りて、能く綴付け、次よ一方の縫込を折りて綴付け、次よ心は帯の縫込丈狭く裁ち、心の方に真綿を引き、帯の上置き、糸を二つよ割り、之を以て心を帯よ綴付け、次に引返し、縫目正しくして、寝糸を掛け、真中の縫残りたる所を縫け、然る後畳み置くなり。

◎女鯨帯仕立方の順序。縫方参考の部。

絞と天鷲絨との鯨帯を仕立つるには、先づ絞の方へ入る、心を糊をこはくはり、これに真綿を引き、其の上に絞の切を引伸し、四方を心に縫付け、次に天鷲絨と絞を能く合せ、糸を掛け、次に中の印を付け、其真中を一尺残りして縫ひ、四角の縫込を絞の方へ返して綴付け、次に帯被の中八寸五分おらむ、心の中八寸四分お裁切り、天鷲絨の方へ綴付け、次よ真綿を引き、次よ縫残りたる所より手を入れ、角を持ちて、引返し、縫目を正して、針目を五分位よあし、寝糸を掛け、次よ縫残りたる所を縫け、畳み置くなり。

但し縮緬類の帯を仕立つるものは、総て此の法を宜しとす。

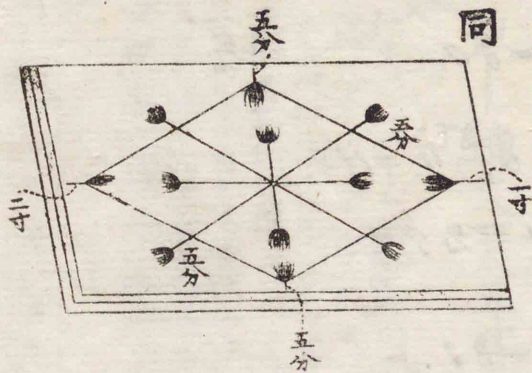
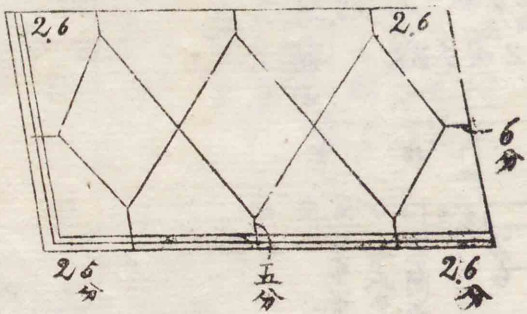
○博多と縹子との鯨帯の仕立方。

縹子と博多との鯨帯を仕立つるよは、先づ品の伸縮を直し、表と裏とを合せ、周圍を躰糸にて縫付け、次に巾と丈とに印を付け、其所を真中一尺残りて縫ひ折目ハ博多の方へ返し、四角の縫込を縫付け、次に帯の中より、心の中を一分狭ましく切り、又一枚の心ハ、帯の縫込丈狭く裁ち、次ハ心と心とを揃へて綴ぢ、其の上ハ真綿を引き、次ハ博多の上ハ心を載せ、縹子の方へ程能く綴付け、次ハ又真綿を引き、縫残したる所より手を入れ、角を持ちて、引返し、縫目を正しくして、針目四五分位小躰糸を掛け縫残したる所、細小紵け畳み置くあり。但し厚き織物ならぬ、総て此の仕立方をよろりとせ。

男帯仕立上の図



女帯仕立上の図



女帯の綴糸ハ、赤色と白色の糸を交せて綴るなり。

常中長さ一丈四尺の布を以て三つ身被布の裁方及び積方

解。但し袖丈一尺四寸五分今前身頃後より二寸長くても。

七五	テ	テ	五二	後	前	リエテタ
袖口丈	袖口丈	袖口丈	袖口丈	袖口丈	袖口丈	袖口丈
後身丈二尺	後身丈二尺	後身丈二尺	後身丈二尺	後身丈二尺	後身丈二尺	後身丈二尺
六分余	六分余	六分余	六分余	六分余	六分余	六分余
別切寸	別切寸	別切寸	別切寸	別切寸	別切寸	別切寸

解。

袖丈の四倍を総尺より減し又前下りの二寸を減し三は除せば後身丈を得るなり。

$$74.5 \times 4 = 298$$

$$140 - 298 = -158$$

$$158 - 2 = 156$$

$$156 \div 4 = 39$$

$$39 + 2 = 41$$

七五	後	前	テ	テ
袖口丈	袖口丈	袖口丈	袖口丈	袖口丈
後身丈二尺	後身丈二尺	後身丈二尺	後身丈二尺	後身丈二尺
三分間五分	三分間五分	三分間五分	三分間五分	三分間五分
別切寸	別切寸	別切寸	別切寸	別切寸

解。

袖丈の四倍と前下りの二倍即ち四寸を総尺より減し四は除せば身の丈を得又身の丈小前下りを加ふれば前の丈を得るなり。

$$15 \times 4 = 60$$

$$180 - 60 - 4 = 116$$

$$116 \div 4 = 29$$

$$29 + 2 = 31$$

常中長さ一丈八尺の布を以て四つ身被布裁方及び積方

但し袖丈一尺五寸。

中二尺長さ七尺の布を以て三つ身被布の裁方及び積方

解

解。正襟の尺四寸と袖口の二尺及び前下りの二寸とを総尺より減し二は除せば後身丈を得後身丈より前下りの二寸を加ふれば前身を

七五	袖	袖	小
一尺二寸五分	袖口丈	袖口丈	袖口丈
後身丈二尺	後身丈二尺	後身丈二尺	後身丈二尺
六分余	六分余	六分余	六分余
別切寸	別切寸	別切寸	別切寸

$$70 - 14 - 10 - 2 = 44$$

$$44 \div 2 = 22$$

$$22 + 2 = 24$$

七五	テ	テ	七五
袖口丈	袖口丈	袖口丈	袖口丈
後身丈二尺	後身丈二尺	後身丈二尺	後身丈二尺
三分間五分	三分間五分	三分間五分	三分間五分
別切寸	別切寸	別切寸	別切寸

解。

袖丈の二倍と前下りの二寸とを総尺より減し二は除せば後身丈を得後身の丈へ二寸を加ふれば前身を

$$15.5 \times 2 = 31$$

$$90 - 31 - 2 = 57$$

$$57 \div 2 = 28.5$$

$$28.5 + 2 = 30.5$$

中二尺長さ九尺を以て四つ身被布の裁方及び積方

但し袖丈一尺五寸五分

常巾二丈七尺五寸の布を以て、大人被布の表裁方及び積方。

但し袖丈一尺六寸身の丈二尺四寸出来上りの積方。

袖 袖 二丈一尺六寸五分

後 前 前 後

小 小 小 小

後 前 前 後

後 前 前 後

堅 堅 袖 袖

袖 二尺五分

24 + 1 + 5 = 25.5 前丈
 身の丈 前下り 多り

25.5 - 4 = 21.5 堅袖丈

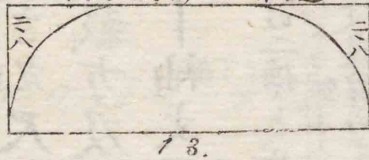
袖 16.5 x 4 = 66

275 - 66 - (21.5 x 2) - 13 = 153

153 - 4 = 149

149 ÷ 4 = 37.25 後身の丈 37.25 + 2 = 39.25 前身の丈

通常小衿裁方図



月形の小衿裁方図



出来上りの身の丈は前下りの二寸と、
 くりこりの五分を加へ堅袖の下り
 を減れば二尺五分を得。即ち
 堅袖裁切の丈なり。次は袖丈の四倍
 と堅袖の二倍と小衿の二尺三寸と前
 下りの四寸とを総尺より減り、残
 りを四で除し、後身の丈を得。こ
 れ三寸を加へ前身の丈を得るなり。

同裏地の裁方及び積方。

袖 二丈五分

袖 二丈五分

袖 16 x 8 = 128

24 x 10 = 240 身の丈

240 + 128 + 25 = 393

393 - 275 = 118 裏の用布 表の用布

解。

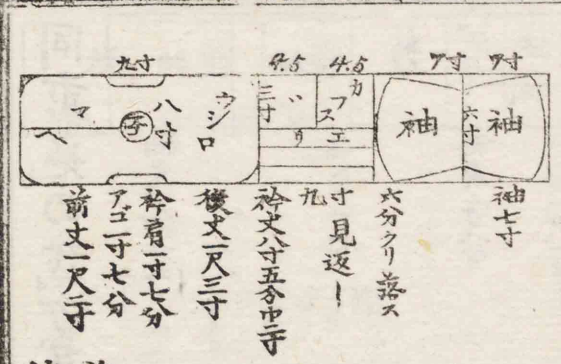
袖丈の八倍と身の丈の十倍とを合せ、又縫代
 の二尺五寸を加へ、夫れより表の用布二丈七尺
 五寸を減れば裏の用布を得るなり。

縫方の縫代と小衿

○高等科四年第一期。

積方の解。

袖丈の二倍とカフスの二倍とを総尺より減じ又後と前との差一寸を減じ、其の残りを二に除せば前丈を得前丈ふすを加ふれば後丈を得るなり。



積方。
 $7 \times 2 = 14$
 $4.5 \times 2 = 9$
 $14 + 9 = 23$
 $48 - 23 = 25$
 $25 - 1 = 24$
 $24 \div 2 = 12$ 前丈
 $12 + 1 = 13$ 後丈



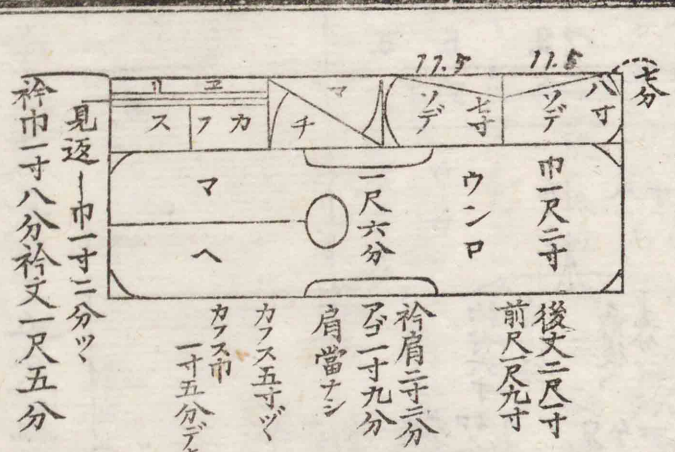
積方。
 $30 - 1 = 29$
 $29 \div 2 = 14.5$ 前丈
 $14.5 + 1 = 15.5$ 後丈

後丈二尺五寸五分
 前丈二尺四寸
 肩當ふ
 袖付五寸
 二尺一寸八分丈九寸

總尺より一寸を減じ、二に除せば前丈を得、又前丈ふすを加ふれば後丈を得るなり。

中二尺長さ三尺の布を以て十才位のシャツの裁方。

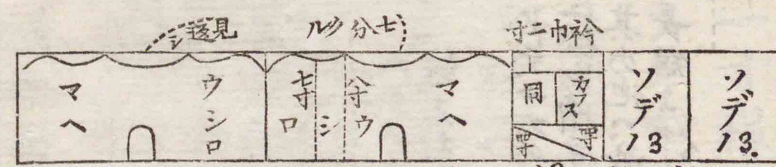
中二尺長さ四尺の布を以て、十四歳位のシャツ裁方。



積方。
 $40 - 2 = 38$
 $38 \div 2 = 19$ 前丈
 $19 + 2 = 21$ 後丈

解。
 總尺より後の長さ二寸を減じ、二に除せば前身の丈を得、前丈ふすを加ふれば後丈を得るなり。

中八寸五分の布を以て、肩當な一胴形の



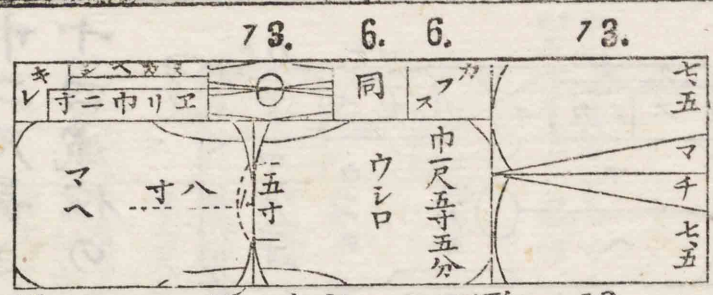
積方。
 $73 \times 3 = 39$
 $20.5 \times 4 = 82$
 $82 + 39 + 4 = 125$

解。
 袖丈を三倍と身の丈を四倍との兩數を合せ、それ以後の長さ左右四寸を加ふれば、用布を得るなり。

中二尺長さ五尺五寸の布を

以て、大人の肩

當付シャツ裁方。



解。

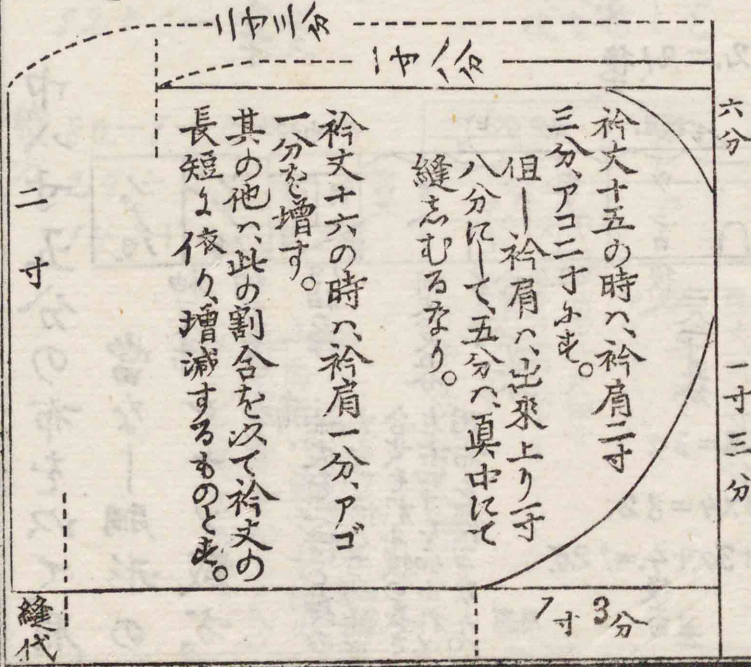
總尺より袖丈を減じ、
又後の長さ二寸を減じ、
二の除せば前丈を得、前
丈より後丈の長さ二寸を
加ふれば後丈を得る。

$$55. - 73. = 42. \text{ 袖}$$

$$42. - 2. = 40.$$

$$40. \div 2. = 20. \text{ 前後}$$

$$20. + 2. = 22. \text{ 後の長さ}$$



○シャツ縫方の順序

第一は袖を取り、カフスの付く所を一寸程まつり付け、
シヤツならは三寸五分程おす。次は袖口の所をカフスの長さ丈に縫縮め
て、其處よりカフスを縫付け、次は後ろ身頃を取り、左右の肩に
ギヤダをとり、之を裏表の肩當を以て、挟みて縫ひ、次は前身
頃を取り、表の肩當に縫付け、其處へ裏の肩當をまつり付け、
見返りの左を表へ、右の裏の方へ付け、次は前の處五分交へ
て、其處より止切を付け、衿を付け、次は裾口を最初丸き處五厘
位の縫代にして、縫ひつめ、前後とも巾一分位より三つ折をな
して、まつり付け、次は袖を二分縫代より、身頃を一分縫代にし
て、之を縫付け、身頃の方へ折を付け、縫込の端を折りて、まつ

り付け、次よ脇縫より、袖下を縫代二分位よりして縫ひ其の縫目へ、後身頂の方へ返し、縫込の端を折りて、まつり付け、次よ馬乗の所及び袖口ふ、ヒウチを入き、次ふカフスの左右へ、三分の穴二つ宛、衿に一つ、見返しに三つ明け、又飾シヤツあらば見返しに穴、堅よ明け、通常へ、横よ明け、穴かぶりを作し、然る後之を疊み壓を置くなり。

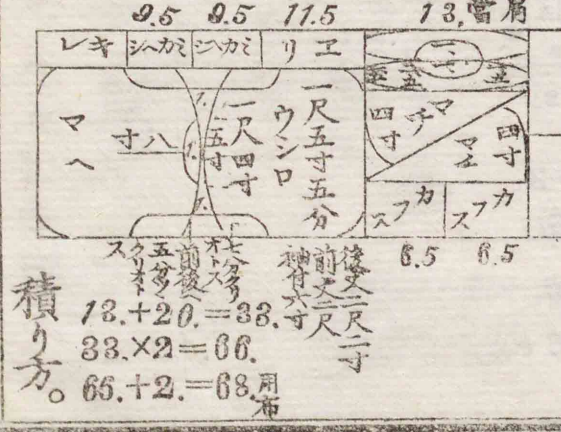
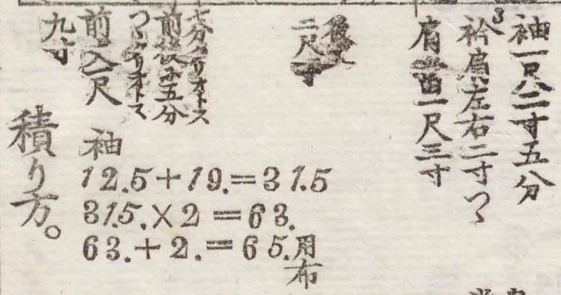
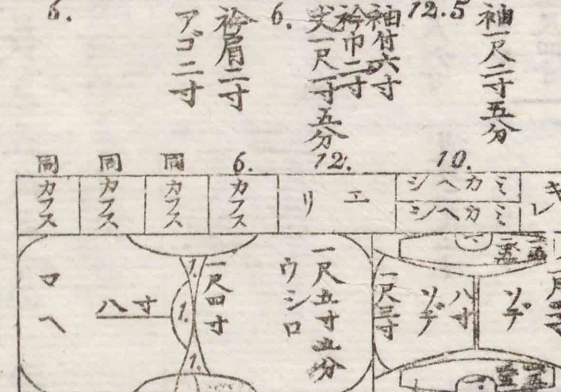
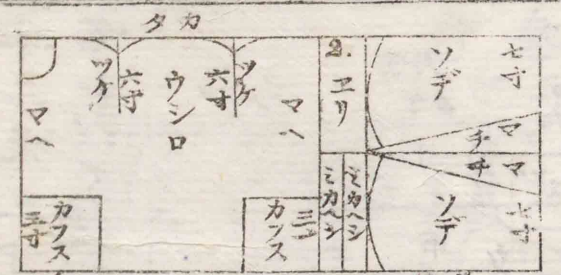
但し「シシン」縫ひならば、最初かり縫をおし、裏の方より「シシン」を掛け、次よ表を見て、飾り「シシン」を掛くるなり。

○参考の部

中二尺長さ四尺の布を以て、大人シヤツ裁方。

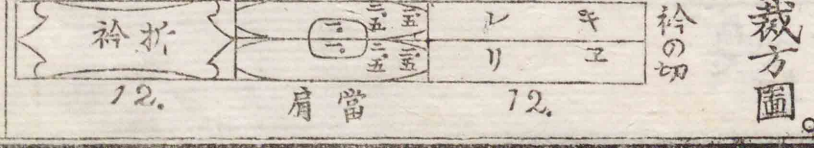
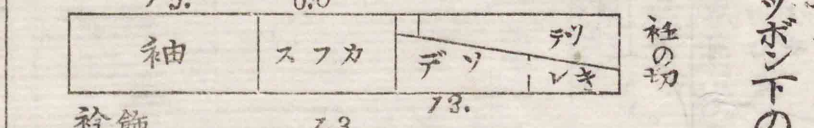
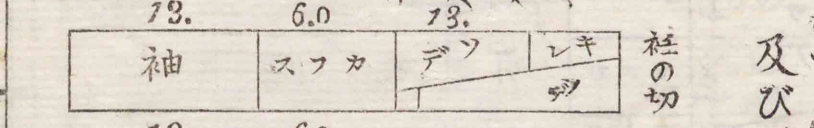
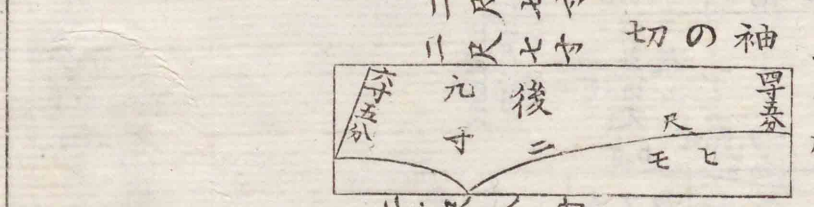
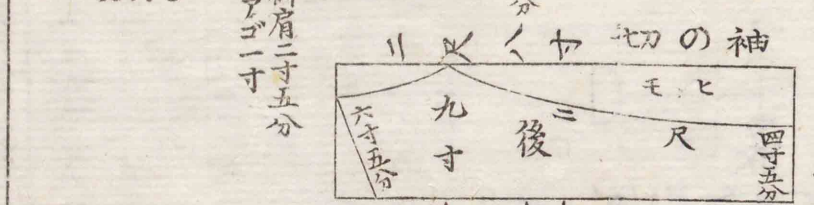
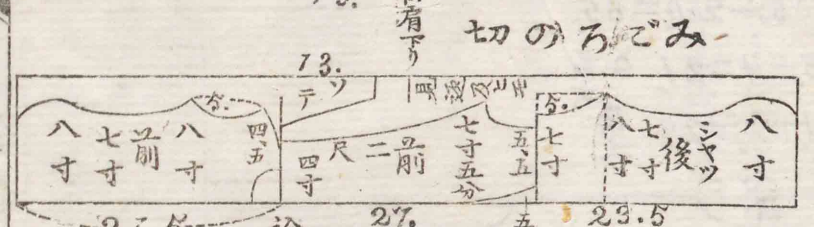
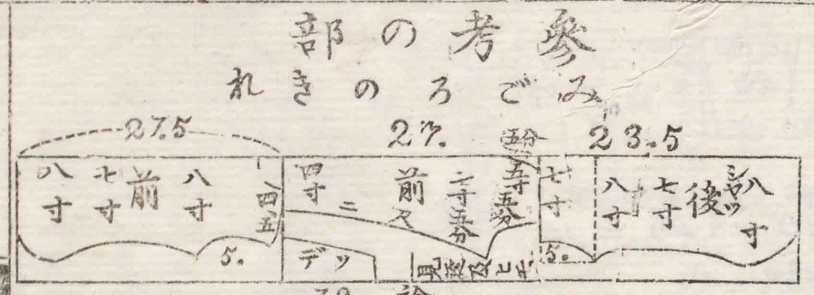
○中一尺八寸長さ六尺五寸の布を以て、シヤツ裁方。

○中一尺七寸長さ六尺八寸の布を以て、シヤツ裁方。

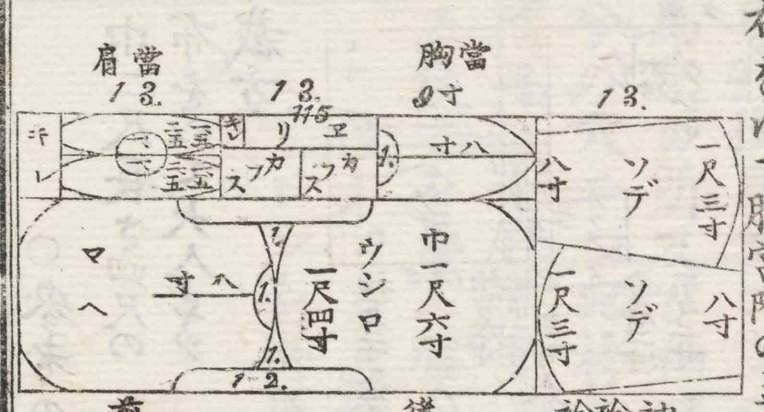


袖 12.5 + 19 = 31.5
31.5 x 2 = 63
63 + 2 = 65 用布
積り方。

袖 12 + 20 = 32
32 x 2 = 64
64 + 2 = 66 用布
積り方。

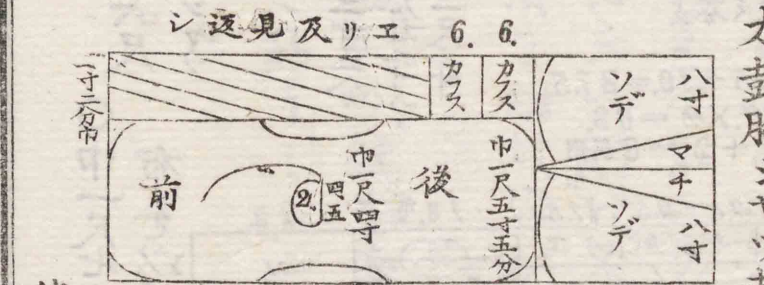


○身の丈三尺六寸袖丈一尺四寸の暑物表古物を以てシャツ及びビゾン下の裁方圖。



前丈三尺 後丈二尺二寸
袖一尺三寸 衤中二尺 衤丈一尺寸五分

積り方
 $20 \times 2 = 40$
 $40 + 15 = 55$ 用布
 後の長



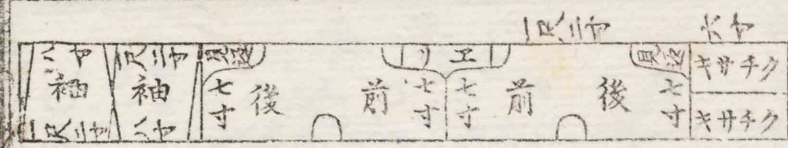
積り方
 尺二丈前 72.
 總尺 袖丈 55. - 13. = 42.
 42. - 2. = 40.
 後丈二尺二寸 形五分

後の長
 $40 \div 2 = 20$ 前丈
 $20 + 2 = 22$ 後丈

中二尺三寸長さ五尺五寸の
 布を以て胸當附のシャツ裁方。
 ○中二尺長さ五尺五寸の布を
 以て太鼓胸シャツ裁方。

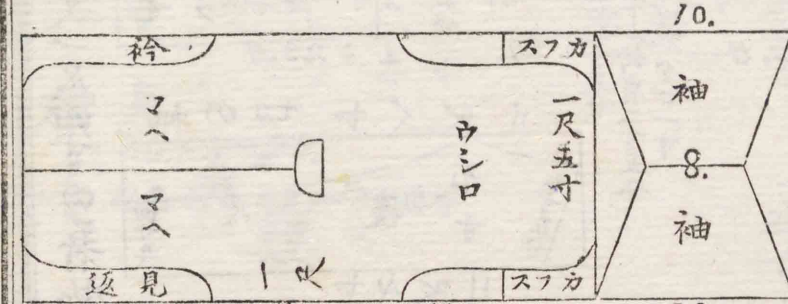
四十六

巾九寸五分長さ一文
 五寸の布を以て、シャツの裁方。
 巾二尺長さ五尺二寸の布を以て、
 シャツの裁方。
 巾二尺三寸長さ
 四尺五寸の布を以て、
 裁方。

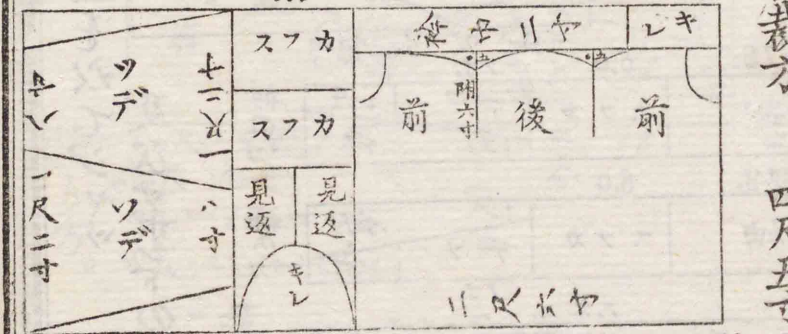


袖 袖 後丈の長さ
 $12. + 6. + 2. = 20.$
 総尺
 $70.5 - 20 = 50.5$
 $50.5 \div 4 = 12.625$ 余 前丈
 $12.625 + 2. = 14.625$ 後丈

積方



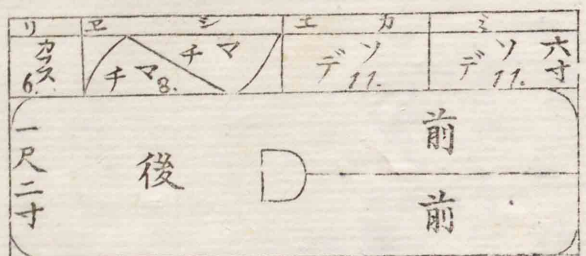
前身の丈 6.5
 後身の丈 二尺二寸



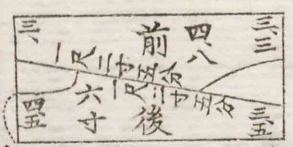
袖丈 二尺三寸五分
 襟肩二寸
 アゴ二寸

○参考の部

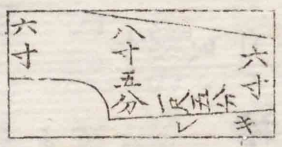
巾二尺長さ一ヤール半の
 布を以て仕入のシャツ裁方。
 ○常巾の布を以て、三四歳の
 ツボン下裁方。
 但し紐ハ別切を
 用ふ。尺 2. 用布
 積方方 文 76. x 2 = 152
 ○常巾の布を以て、
 十歳前後のツボン
 下裁方。
 見返し 文 二尺



前丈一尺七寸
 後丈一尺九寸
 襟肩二寸
 アゴ二寸



積方方 文 175 x 2 = 350
 寸 5 用布

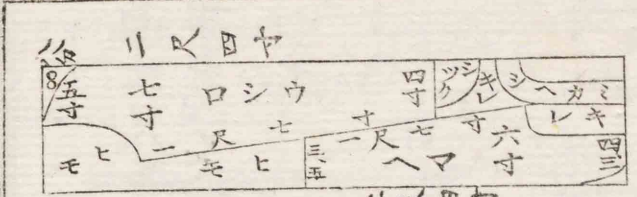


積方方 文 76. x 2 = 152
 尺 2. 用布

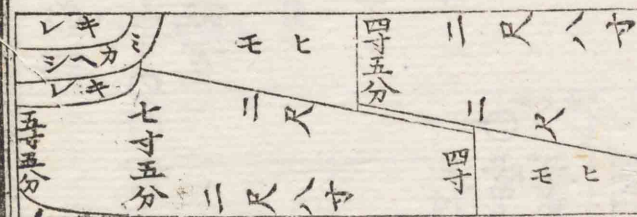


積方方 文 20. x 4 = 80.
 $80. - 20. = 60.$ 用布
 尺 裁

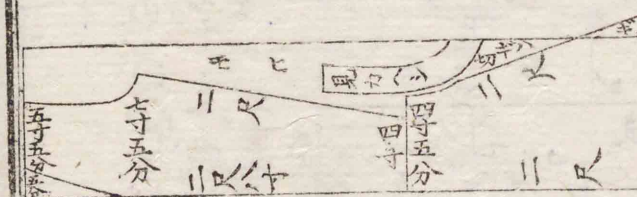
常中の布を以て、○巾二尺の布を以て、大人ツボン下 ○巾八寸の布を以て、大人ツボン下裁方の圖。



文 2尺8寸 × 4 = 96.
積り方 96 - 16 = 80 用布
裁方 裁方



積り方の解。
文 2尺8寸を二倍し、
五尺六寸を得、此内
より前後裁込の六
寸を減じ、五尺とな
る。即ち用布あり。
方り積
文 28 × 2 = 56.
積り方 56 - 6 = 50 用布
裁方



積り方の解。
文 2尺8寸の四
倍、後の形の二
寸を加へて用布
を得るなり。
方り積
文 28 × 4 = 112.
積り方 112 + 2 = 114 用布
裁方

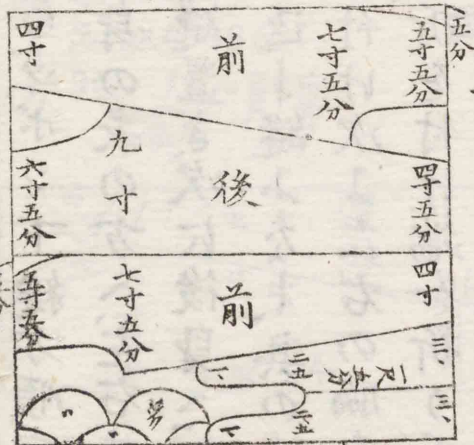
○ツボン下縫方順序。

第一、前身の表の方へ、左右共見返しを付け、膝上へ、下より一寸五分縫置き、次に後身へ「ジツク」即ち尻當を付け、次は後の膝上を返し縫ひなし、其の縫込を、左右へ開き、端を折り、之をまつり付け、次は左右の脇を返し縫ひなし、其の縫込へ、前身の方へ折を付け、端を折り、まつり付け、次は内膝の裾口、左右と四寸つゝ、残して、其の他を縫ひ、前身の方に折を付け、端を折り、まつり付け、次に縫残したる四寸の處を巾一分位にまつり付て、ヒウチを入き、次は裾を巾四分位にまつり付け、次に紐からバ之を付け、腰廻りボタン掛ならを腰廻りの切を付け、裾口もボタン掛ならを、見返しを付け、又紐から

一ヤールの曲
又三尺餘尺三
又四寸
餘二十四分を
一分とす

部の考參

圖つ裁てしなに折つ二丈



圖つ裁てしなに折つ二中

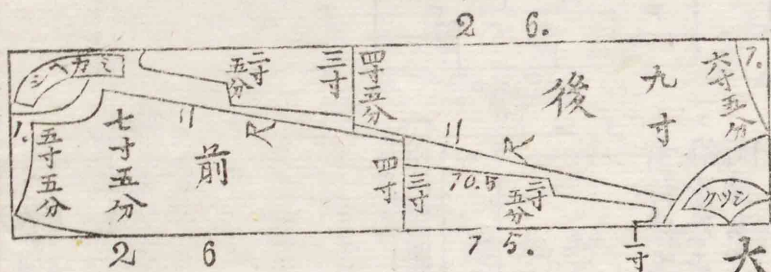


中一ヤール、長さ三ヤールを以て、腰廻付ツボン下二足の裁方。
但しぐり縫、ミシン縫等にする可き事あるべし。
真中まんなかに一寸の穴を明け、左右の端各二宛明け、腰廻の上前の
方へ三分の穴三つ身方よニツ明け、穴かゞををたし、疊み置くなり。

裁縫教科書卷之二

二尺中の布を以て、腰廻付

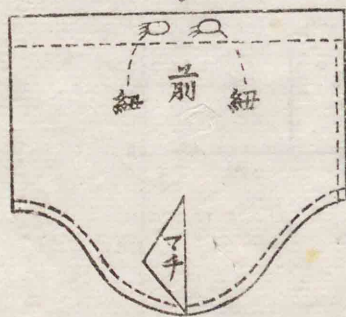
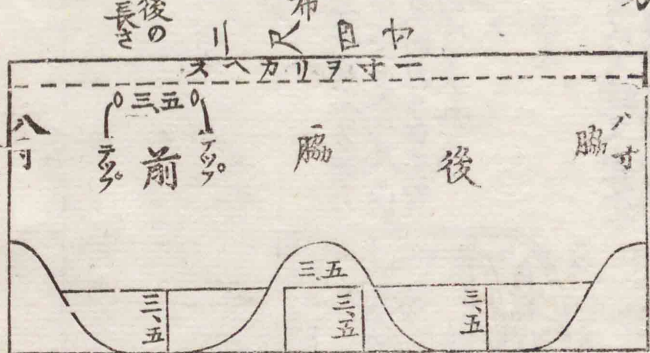
部の考參



$26 \times 2 = 52$

$52 - 2 = 50$

$50 + 7 = 57$ 用布



同出来上りの圖

大人ツボン

下の裁方。

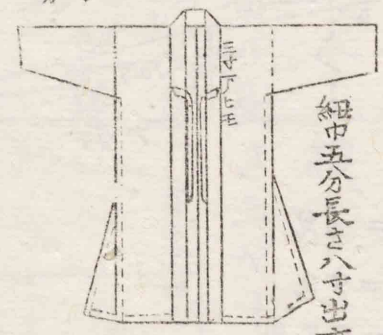
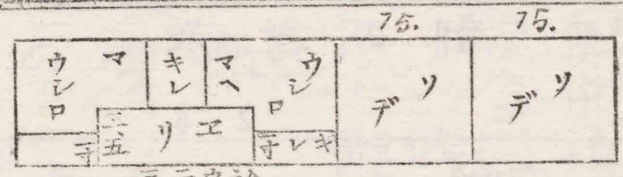
○猿脰即ち西洋禪の裁方。

○擊劍服裁方

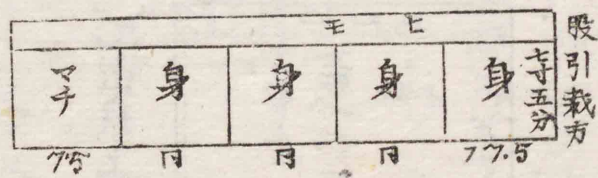
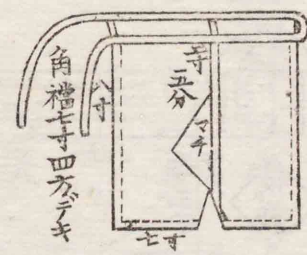
丈二尺九寸行一尺七寸後巾七寸五分前巾五寸五分
袖口六寸袖付七寸袖中一寸五分馬乘五寸裾口三分巾
の出来よりなり。

○股引裁方

股引丈一尺七寸五分裁切。



之小用ふる着ハ
中二寸丈八尺出
來何れも白本箱
の心を入れる。



積方。

一尺七寸五分を四倍して之小箱の
七寸五分を和して用布を知るあり。

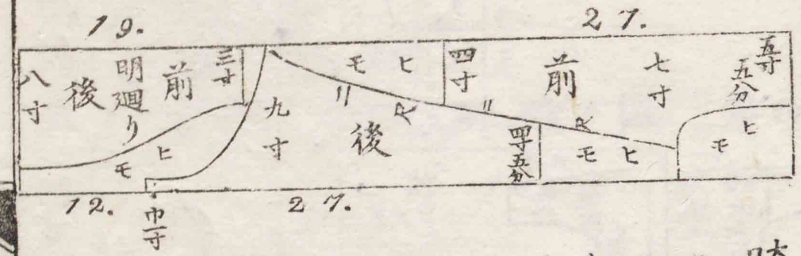
但し縫目ハ総て伏縫を
方をなり。

積方。

袖丈七寸五分身の丈三尺を加へ之を
四倍して七寸を和して用布を知るあり。

前衿裁ち肩當付線二重にて縫又ふせ
縫をなを其他へ通常の襟祥を縫ふと
同様あり。

部の考参



巾一尺八寸、長さ六尺一寸の布を以て、

膝上股引仕立のゾボン

下裁方。

細巾五分丈五尺出来
丈二尺七寸膝下二尺
腰廻り一尺九寸

縫方順序。

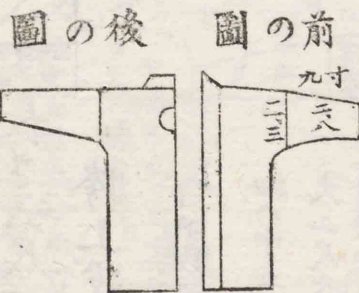
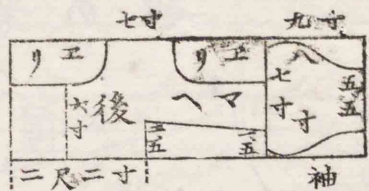
最初後と前とを揃へて脇縫をなし、
其縫目ハ前の方より折を付け縫込の
端を折りてまつり付け次ハ裾口を
三寸残して内膝を縫ひ其折目を前
の方へ返し縫込の端を折りてまつ
り付け裾口の縫残したる處を三
つ折をなしてまつり付け裾口中四分
位折りてまつり付け或は縫込を表
へ返しテッブを縫付け次ハ胴廻りの
廣き方を後方よりと膝上へ縫付け
其縫目ハ腰廻りの方へ返し縫込の
端を折りてまつり付け次ハ前の方を
四五寸程交へと左の方へ七寸出し
紐を付け之を折付け然る後疊み付
なり。但し總てミシン縫をなすもよし

積り方。

27. X 2 = 54.
54. + 72. = 66.
66. - 7. = 59. 用布
裾口み於て
裁合せ七寸

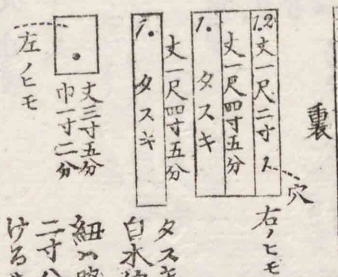
常中六尺二寸の布を以て、車夫筒袖の裁方及積方。

裁縫教科書卷之二



袖 9 X 2 = 18
22 X 4 = 88
88 + 18 = 106 用布

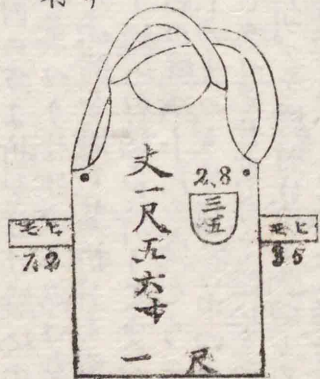
衿肩二寸出来
衿巾八分
脊紋一寸五分裁切下り
衿肩より六寸下りて左にホツクを付け、右小ワイスを付ける。
肩當後八寸前二寸五分
袖付の身の方よ返し、脇の後よ返さかり。



紐の脇の止りより二寸八分下りて付けるあり



夏腹掛裁方



○車夫などの半股引裁方

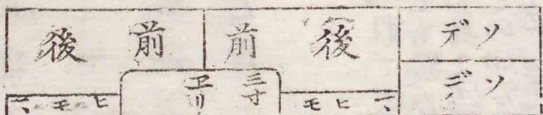


紐巾五分丈五尺左に六七寸出す

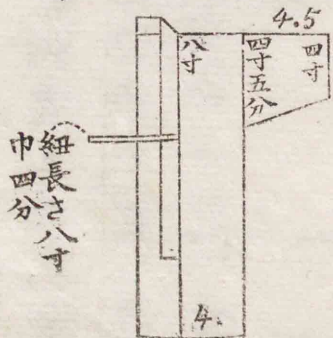
縫方順序。

第一内襟を一分先きに出して身に縫付け、其縫目へ身の方へ返して縫込の端を折り、て身に縫付け、次は外襟を一分先きに出して身に縫付け、縫込の端を折り、て身に縫付け、次に裾を折、次に腰廻りの裾方を移身の方となし、て縫付け、前の方を四五寸交へて、左の方に紐を六七寸出し、て縫付け、又断るなり。

車夫の襦袢裁方。



仕立寸法へ總て一むす、出来上りの圖

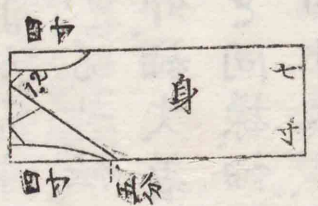
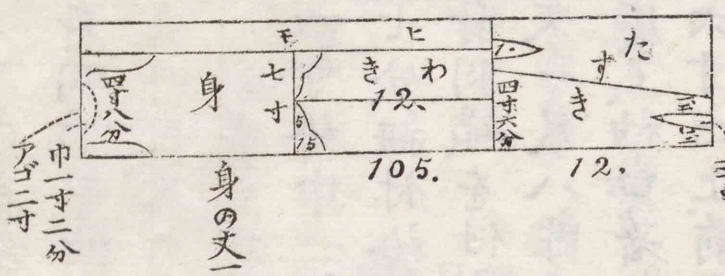


腹懸の寸法度り方ハ最初咽より胯の止りめ迄度りて之を
 丈とて次ハ胸の廻りを度り之を胸廻りとす胸廻りの三分
 の一を身の中となし又身の中の二分を脇布の中となし身
 の中の三分の二を胸の中とし又胸廻りの二分の一に一寸
 八分を加へてたすきの寸法とせるなり。

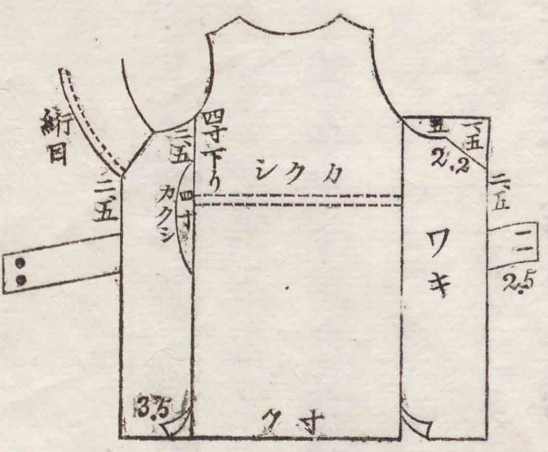
縫方順序

第一紐及たすきの切に心を入れて之を縫は次ハ左右の脇布に
 紐及たすきを縫付け又馬乘をも縫ひ引返して正しく裁ふ
 かくしに口切を付け之を裏の身ハ綴付け次にアゴを伸ばぬ様
 に之を縫ひ次に脇布及たすきの切を以て狭みて肩と
 脇を縫ひ次ハかくしの止りめに切込を入れて裏身とかくしの
 切を放して縫ひ引返し次ハ身とかくしの切を以て狭みて
 て馬乘の處迄縫ひ次ハ身の裾口の左右一寸づつ馬乘を縫ひ
 引返して裾口を縫は次にアゴ并に脇の下に共縁を取るなり。

腹懸の裁方圖



襦袢衿の腹懸けの裁方
 肩より六寸五分程斜小裁
 つゞく餘ハ通常の腹掛と同
 ト



○高等科四年第二期

三つ身羽織を仕立つる寸法

身の丈一尺五六寸、袖丈著物より三分長く、袖口著物と同様、袖中一分廣く、袖付一分多く、身の八つ口二寸、後中五寸七分、前中四寸、衿巾一寸三分、襠中、下にて一寸五分、上小て五分、前下り七分、紐付衿肩より五寸五分。

四つ身羽織を仕立つる寸法

身の丈一尺八寸内外、袖丈著物より三分長く、袖中著物より一分廣く、袖口著物と同様、袖附一分多く、身の八つ口二寸、後中六寸以上、前中四寸以上、衿巾一寸四分、襠中、下一寸六分、上五分、前下り七八分、紐付衿肩より六寸。

巾一尺、長さ一丈四尺の布を

以て三つ身羽織の裁方

圖及び積方

積方の解

袖丈四尺、
袖口一尺、
衿肩一十八分、
袖丈の四倍と前後の差四寸を總尺より減じ、残りを三に除せば、後丈を得、又後丈へ四寸を加ふれば、前丈を得るなり。

袖	七寸	袖	六尺	後	五寸	前	五寸	再	五寸	後	六尺
袖	三寸	袖	三寸	口	袖	リ	エ	マ	マ	チ	六尺

袖 $16 \times 4 = 64$
 $140 - 64 = 76$
 $76 - 4 = 72$
 $72 \div 3 = 24$
 $24 + 4 = 28$

○裁方順序

一丈四尺の中より、六尺四寸を切り、其の端より中三寸、大断ち、之を衿と袖口とに糸し、残りの廣き方を兩袖とするなり。次に残りの七尺六寸ある切を左右の端二尺四寸宛の所を中の真中まで切込み、衿肩一寸八分になし、脊の端より襠を取らるなり。但し衿肩へ一寸五分、真直にして、三分丸くせ。

裁縫の書卷之三

巾一尺三寸長さ二丈三尺の布を以て、三つ身羽織二枚の裁方及び積方。

袖	口	リ	リ	エ	エ
袖九	同	同	同	同	同
袖	袖	袖	袖	袖	袖
後	前	後	前	後	前
六	六	六	六	六	六
四	四	四	四	四	四
六	六	六	六	六	六

積方の解。

袖丈の八倍と前後の差の二倍とを總尺より減じ残り四に除せば、後の身の丈を得、後身の丈に前後の差を加ふれば、前身の丈を得るなり。

袖 袖九寸
 $16 \times 8 = 128$
 $230 - 128 = 102$
 前後の差
 $102 \div 4 = 25.5$ 後身の丈
 $25.5 + 4 = 29.5$ 前身の丈

巾九寸五分の布を以て、前衿裁の羽織裁方及び積方。

但し袖丈一尺六寸、後丈二尺七寸、前丈三尺一寸。

積方の解。

袖丈一尺六寸の四倍と後丈及び前丈を合せて、之を二倍せし者とを合せば、用布を得るなり。

袖	袖	後	前	前	後
袖	袖	袖	袖	袖	袖
袖	袖	袖	袖	袖	袖
袖	袖	袖	袖	袖	袖
袖	袖	袖	袖	袖	袖
袖	袖	袖	袖	袖	袖

袖丈一尺六寸
 後丈二尺七寸
 前丈三尺一寸
 前衿
 衿丈四尺六寸

$16 \times 4 = 64$
 $27 + 37 = 58$
 $58 \times 2 = 116$
 $116 + 64 = 180$ 用布

裁縫の書卷之三

○男羽織を仕立つる寸法。

身の丈二尺五六寸、袖丈著物より三分長く、袖口八寸、行著物より一分長く、後巾八寸、前巾五寸、下り一寸、襦中一寸九分又二寸、衿巾も同様、紐付衿肩より七寸五分以上、衿肩の後の方へ、一分くりこを並とすれども、體格に依り多少繰越を事もあり。又腰の甚だ曲りたる人、後を前にくりこを事もあるなり。

○男單羽織縫方順序。

先づ袖を自己の方へ、袖口を自己の向ふに持ち、口明の所を縫ひ、折目は表の方へ返し、次小紋の在所を下小して、口明を止め、それより袖附迄縫ひ、袖形を拵へ、袖口と袖下の縫込を

を拵附け、引き返して、臙絲を掛け、次小紋を能く合せて、脊を縫ひ、折目へ、自己の方へ返して、下小置き、後巾八寸、肩巾八寸五分、前巾五寸三分、印を附け、次に脊の縫込の端を折りて、拵け付け、前下の所を三つ折よかして、端を綴ぢ附け、衿よて前身頃をくるみ、衿先の所へ、身頃の中を二寸の間みて一分斜に縫ひ込み、それより紐附の所迄は、衿も身頃も同様よし、紐附より紐附迄は、衿を二分程緩くかして、衿肩の所へ、表の方衿を一枚残して縫ひ附け、次は衿先へ一分中を縫ひ、折目を裏の方へ返して綴付け、次に衿の縫込の中へ衿心をくるみて、所々を綴ぢ、程能く引き返し、衿肩の縫残したる所を拵け、次は襦中、下二寸、上一分に、印を附け、前後の身頃へ、襦を縫

附け、裾の縫込へ、身頃の縫込に衿附け、次は裾を衿け、又袖を
附け、前後の脇の縫込は、身頃より衿附け、然る後、裏の方より熨
斗を掛け、疊むなり。

女物及び子供の單羽織へ、八つ口を明くるのみにて、其の餘
へ、男物の縫方と同様よるあり。

○男袴羽織縫方の順序。

第一裏袖に袖口を縫付け、次は表袖を自己の方へ、裏袖を向
ふにして、表へ裏より一分緩く、口明の處迄二分の縫代とな
して、之を縫ひ、其の縫目も、五厘きせを掛けて、表の方へ折を
付け、袖中の印を附け、次は身頃を取り、胴繼をなし、衿肩を右
へ持ち、表と裏を四枚共脊縫をなし、其の縫込へ、自己の方へ

折を附け、次は之を下に置き、後中の印へ、裾口より袖付迄付
け、又衿肩の所まで肩中を熨り、前中の印より裾口迄
印を附け、肩中の印より袖附の印迄、定木を置く。又へ絲を一
引きて、斜線を引き、印を附け、次は前下りへ、裏の方を一
分縫込み、表へ印の處を前中の印迄縫ひ、其の縫目へ五厘き
せを掛けて、裏の方へ返し、次に之を引返して、表を出して、前
下りの處を裏へ五厘ふくせて、折目を附け、次は之を左右へ
引伸し、裏を自己の方へ、表を向ふとして、前中の衿を附
くる所の表裏を揃へ、躰絲を懸け、次は脊縫と衿の真中とを
合せて、待針を刺し、紐附の處迄は、衿を一分程緩く
して、又待針を刺し、夫より衿先迄は、身頃も衿も同様よなし、前

下の所に於て身頃の切を二寸許りの間にて、一分程斜ひらふ縫
込み、次は衿の中へ身頃を畳み込こみ、然る後衿肩廻まわり込衿を
四つ縫ぬいひなし、衿肩の處を、表を一枚はあし、右の衿肩廻まわり込
縫ひ、又衿の中に身頃を畳たみ、紐附の處迄一分程緩ゆるく、夫
れより下へ、衿も身頃も同様よかし、前下りの處迄縫ひ、然る
後衿先きの處へ、二寸の間あて、身頃の中を一分斜ひらふ縫込み
衿先の縫込の切れを開ひらき、一分内を縫ひ、縫目を裏の方へ返
し之を衿を縫付けたる處へ、返かへり針はりを縫附け、次は衿中の縫
込の切れを其の上に折返かへりて綴と附け、衿の縫目へ自己の方
に返かへり、次は衿肩より、衿及び前身頃を引返かへり、衿の縫目へ、身
頃の方に五厘程ふかせて、折かりを付け、次は後身頃を以て、後

襠を挟みて、身頃の方をゆるく之を四つ縫ぬいひかして引返かへり
次に袖附を、一分縫代しろよして、折目を付け、其處は袖を少すこし緩
くして縫附け、縫目へ、袖の方へ返かへり、次は裏袖を縫付け、前
袖附の處を五寸許り縫殘のこり置き、折目へ、身頃の方へ返かへり、之
を引返かへり、袖口の處を四つ縫ぬいひなし、夫より袂の角迄縫ひ置
き、次は袖附を七枚共ともに糸止めをなし、袖下を縫ひ、又
袖形を捲かへ、其の縫目を、表の方へ折かり、之を引返かへり、前身頃を
以て前襠を挟み、裾口より四つ縫ぬいひあし、表へ折かりを付けて、引
返かへり、袖附の縫殘のこりたる處を衞いせ、然る後雙方縫目を正ただしく
なし、衿及び前下り、袖等へ、躰糸を懸かけ、之を畳たみ附け、壓おし置
くかり。

但一絹布ならぬ袖形及び裾口は真綿を少く入る、
をよとす。

○女袷羽織縫方順序。

先づ袖裏は袖口を縫付け、其折目ハ袖の方へ折りを付け、裏
の方よりやきててをかけ、次は裏袖を自分の向は表袖を自
分の方に持ち裏と表をゆるくなして、袖口あきの處を縫ひ
其縫目ハ五厘きせを懸けて表の方へ折りを付け、次は袖口
あきの處を下ふかる方を淺く折りて、口あきの四枚共は極
めて淺く絲止めをなし、之を袂の角迄縫ひ、次は袖巾の印を
付け、裏袖の中も丈も少くつめてやつ口を縫ひ、其縫目を
裏の方へ折りを付け、次に八つ口下の處を裏と表と四枚共

ふ絲止めをなして、袖下を四つ縫ひなし、其縫目ハ表の方へ
折りを付け、絹布なせば、袖形の處に真綿を少々入れ、之を引
返して一束は躰絲をかけ、(但一袖口の毛抜合八つ口ハ裏袖
を二厘程去りて躰絲を懸るかり)次は裏と表の胴繼をなし、
其縫目ハ、胴裏の方へ折りを付け、烙鏝ロクゴを懸け、衿肩を右は表
身頃を自分の方へ、裏身頃を自分の向はかして、脊を四枚共
に縫ひ、其縫目ハ自分の方へ折りを付け、之を下ふ置き、後巾
と肩巾と前巾との印を付け、前下りを表ハ印の處、裏ハ印を一
分縫ひ込み、前巾の印だけよ之を縫ひ、其縫目ハ裏の方へ折を
付け、裏の方へ表を五厘ふかせて、前下りの折を付け、次は前
身頃の端を表と裏を揃へて躰絲をかけ、次は衿山と脊縫と

を合せて待針を刺し、衿先の處へ、二寸の間にて、身頃を一分斜に縫込む様ふ、衿の中ふ身頃を疊み込み、紐付より下え、衿も身頃も同様に、紐付より紐付迄へ、衿を二分程ゆるくなして、衿肩の處へ、表の方を一枚放して、衿を付け、衿先へ一分中を縫ひ、其縫込は、裏の方へ返して、小針に縫付け、若衿心あらむ、衿の縫込の中ふくるみて、處々綴付け、衿肩より引返し、衿の縫目をこき出し、次に後襦を付け、又後の身の八つ口を縫ひ、引返し、次ふ前襦を付け、又前の身の八つ口を縫ひ、引返し、表袖を表身頃と縫付け、其縫目を袖の方へ折を付け、次ふ裏袖を裏の身頃に縫得るだけ縫付け、引返して、縫殘せし處を新付け、總方正しくおして、前下りと衿と、臙絲を懸け、疊付け、

壓を置くなり。

○女綿入羽織縫方の順序。

第一裏袖ふ袖口を掛け、袖の切を一分程緩くして、口明の處ふ、待針を刺し、袖付を右ふ持ち、口明迄縫廻し、絲止をなし、次に袖形を揃へ、左の袖も、自分の方ふ折を付け、右の袖も、自分の向ふの方ふ折を付け、其處は、烙鏝を掛け、次は表袖を縫ひ、臙絲を懸け、袖中の印を付、絹布ならば、八つ口を縫ひ、次は胴繼及び脊縫をあして、下ふ置き、後巾、肩中、前中の印を付け、次ふ前下りへ、表ち印の通り、裏へ印を一分縫込みて、前巾印丈にして、縫ひ、針目を五分位にかくし、ひつけをかけ、次は後襦及び前襦を付け、二厘程きせをあけて、身頃の方ふ折を付け、

雙方の縫目ふ烙鏝やまごてを掛け次は表を外は出し裏表の間より手を入れ身の八つ口を縫ひ著物の如く袖を付け表を袖の方より折を付け裏は身頃の方より折を付け其處ふ烙鏝やまごてを懸くるなり。但し八つ口及び身の八つ口を著物の如く綿を縫付け置くなり。

綿の入方と著物と同様ならば之を省く。

○同紵たぢ方の順序。

袖口に綿を括り付くるふ始め終りは針目を二分位は綴とぎ付け真中の針目を四分位はなし其他は針目を一寸内外ふして表の方より小さく出して、絲と綿と裏の切とを引つらぬ様になし、次に裏と表との間にて、口明の處を浅く裏表四枚共は

絲止をなし始め終りの少く表を引つり其他は表を少く緩くして針目を二三分位はなし五厘中を紵たぢ付くるなり。次に裏と表の前身頃を揃へ裾口を五厘裏の方へふかせ、衿を付くる處へ綿を薄くにして、臙絲をかけ、次は衿の真中と脊縫とを合せて待針を刺し、紐附より紐附迄は衿を一分宛緩くおし、紐附より下は衿も身頃も同様になし、衿先の處は二寸の間にて前身頃を一分程斜ななめに縫込み、衿先を一分中を縫ひ、其縫込は裏の方より折を付け衿を付けたる處へ、之を縫付け、衿心あらば、衿の縫込ふくるみて、處々綴付け然る後衿を紵たぢけ、脊と前裾とへ布綴ぬいをなし、衿及び八つ口は臙絲をかけ、次は熨斗のひたしを懸くるなり。

男綿入羽織ハハつ口を止めるのみよて其他ハ之ヨナラヒ
縫ふべし。

裁縫教科書卷之二

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 裁縫教科書卷之二）

明治三十年三月二十七日印刷
同 年三月三十一日發行

定價金二拾錢

編纂兼發行者

渡邊辰五郎
東京市本郷區東竹町廿五番地

發行所

東京裁縫女學校
東京本郷區弓町二丁目十番地

印刷所

二原堂印刷部
東京市本郷區眞砂町七番地

印刷人

二原堂富元吉郎
大阪市南久寶寺町四丁目八番地

發行書肆

前川善兵衛
東京市神田區表神保町二番地

同

宮川保全

版權
所有

